



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2019年9月期 決算説明資料

2019年11月14日

2019年11月14日版

2019年9月期/
September. 2019
証券コード/
Securities code
2362

CONTENTS

連結決算概要 … P4

セグメント別概要 …P17

2020年9月期業績予想 …P52

ご参考 …P56

事業ポートフォリオ

[FY18/Q4]

報告セグメント	会社名
建設技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー クルンテープ
その他	夢エージェント YUMEAGENT PHILIPPINES YUMEAGENT VIETNAM 建設資格推進センター 夢ソリューションズ

[FY19/Q4]

報告セグメント	会社名
建築技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー クルンテープ ネプラス Centurion Capital Pacific Limited P3OPLE4U, Inc. インフォメーションポート ガレネット
その他	夢真ホールディングス 夢グローバル ネプラス YUMEGLOBAL.Corp. YUMEGLOBAL.CO.,LTD. YUMESHIN VIETNAM 建設資格推進センター インフォメーションポート 侍 Centurion Capital Pacific Limited P3OPLE4U, Inc. ガレネット

- 純粋持株会社体制への移行
- M&Aによりグループ会社が増加
エンジニア派遣及びその他に追加

連結決算概要

TOPICS

1. 連結営業利益

M&A関連費用計上 前期比9%減益

2. セグメント利益

概ね計画通りに推移

3. エンジニア派遣事業

新たに連結した会社が利益貢献

4. 減損損失の計上

過去の負債を一掃

2020年9月期 追加減損見込み無し

ハイライト① セグメント利益の進捗

(百万円)

1. 建設技術者派遣事業	FY2019 予想	FY2019 実績	達成率
売上高	36,000	35,890	99.7%
セグメント利益	6,000	5,904	98.4%

2. エンジニア派遣事業	FY2019 予想	FY2019 実績	達成率
売上高	13,000	15,391	118.4%
セグメント利益	0	133	—

3. その他事業	FY2019 予想	FY2019 実績	達成率
売上高	—	1,308	—
セグメント利益	—	△272	—

ハイライト② 採用および在籍人数

- グループ計採用人数**5,037人採用**と創業来最高
- 在籍人数は両セグメントとも期末計画を上回り着地

1. 建設技術者派遣事業	FY2019 計画	FY2019 実績	達成率
採用人数	2,800人	3,289人	117.5%
期末在籍人数	5,900人	6,099人	103.4%

2. エンジニア派遣事業	FY2019 計画	FY2019 実績	達成率
採用人数	1,800人	1,748人	97.1%
期末在籍人数	3,400人	3,640人	107.1%

ハイライト③ 連結業績予想との差異

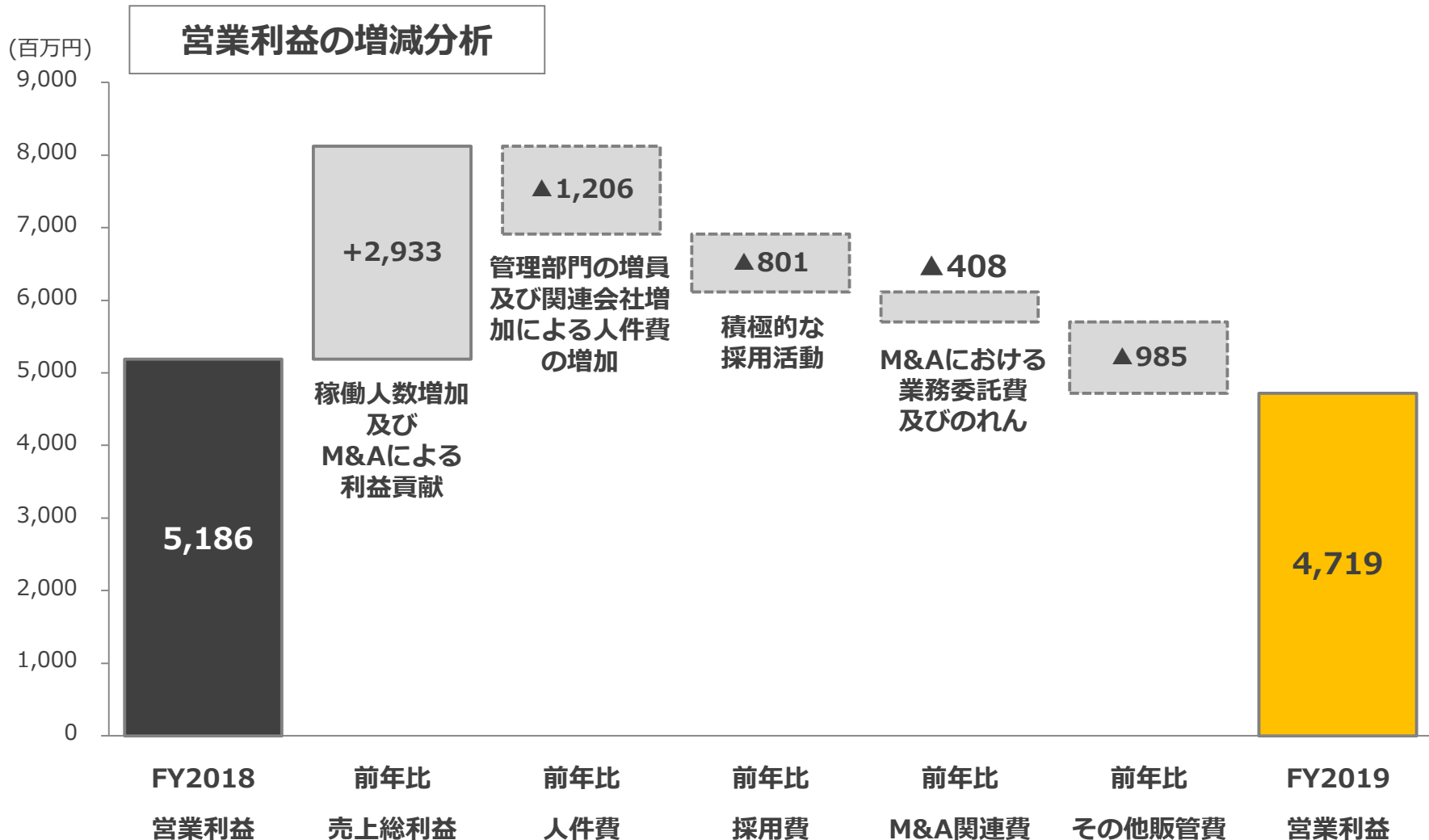
- 売上高 技術者の増員により上振れ
- 営業利益 採用費の増額や計画外のM&A関連費用の計上により下振れ
- 当期純利益 特別損失の発生により下振れ

(百万円)

	FY2019 通期予想	FY2019 実績	達成率
売上高	50,000	52,505	105.0%
営業利益	6,000	4,719	78.7%
経常利益	6,000	4,557	76.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,100	2,504	61.1%

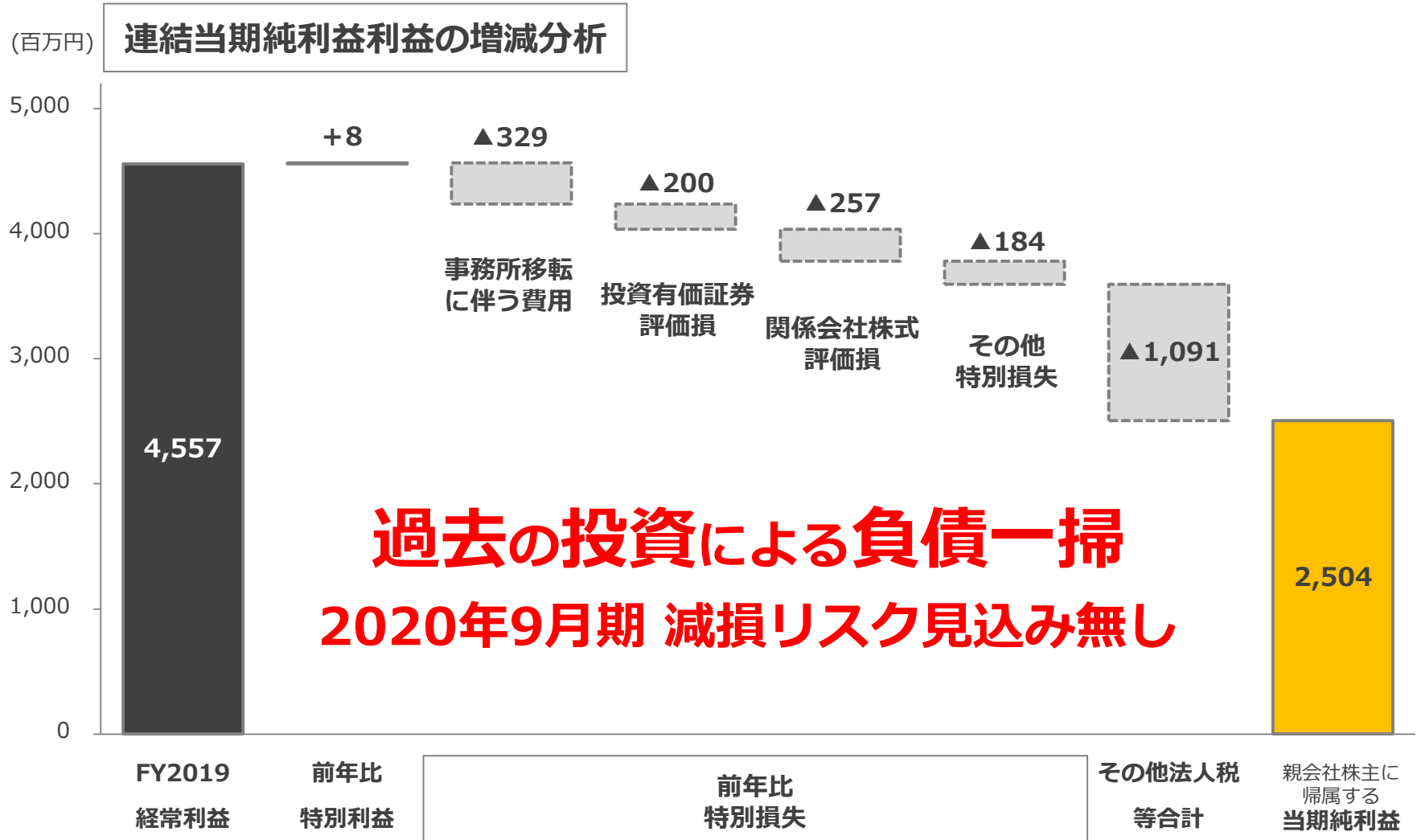
ハイライト④ 連結営業利益の増減分析

- 体制強化のための先行投資として人件費及び採用費を増加
- ITエンジニアの需要増を見据えた積極的なM&Aを実施



ハイライト⑤ 連結当期純利益の増減分析

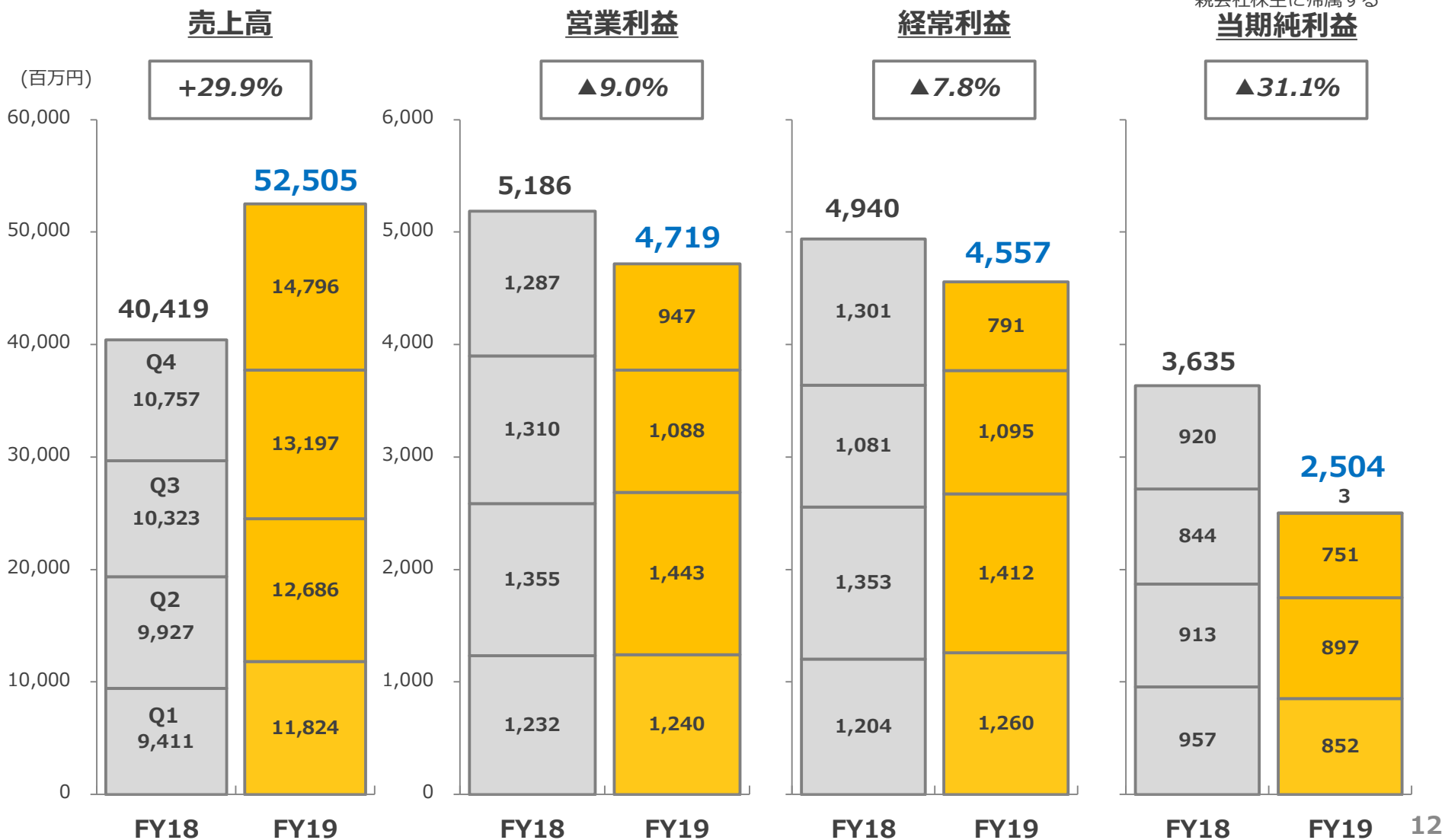
■ 事務所移転に関わる資産の除却や投資有価証券評価損等による減益



連結P/Lの状況

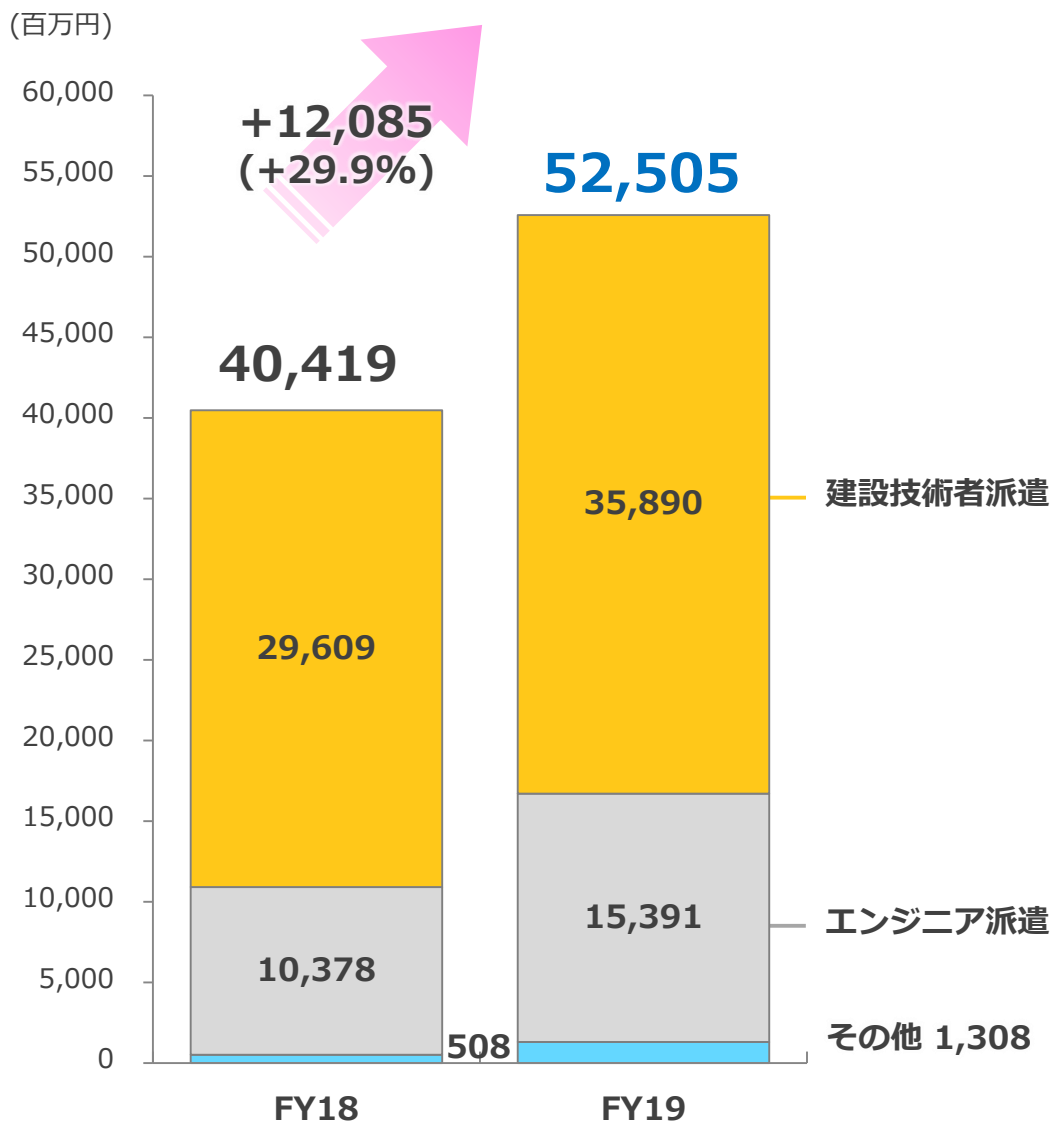
連結P/L (1) 四半期毎の状況

- 売上高は技術者数の積み上げにより37四半期連続増収
- 積極採用・M&A費用計上により減益するも在籍人数は計画超で推移



連結P/L (2) 売上高

■ 建設技術者、エンジニアともに人数増加+派遣単価上昇で30%増収



[主な増減要因]

建設技術者派遣 +6,280百万 (+21.2%)

■ 稼働人数の増加・派遣単価の上昇による増収

エンジニア派遣 +5,012百万 (+48.3%)

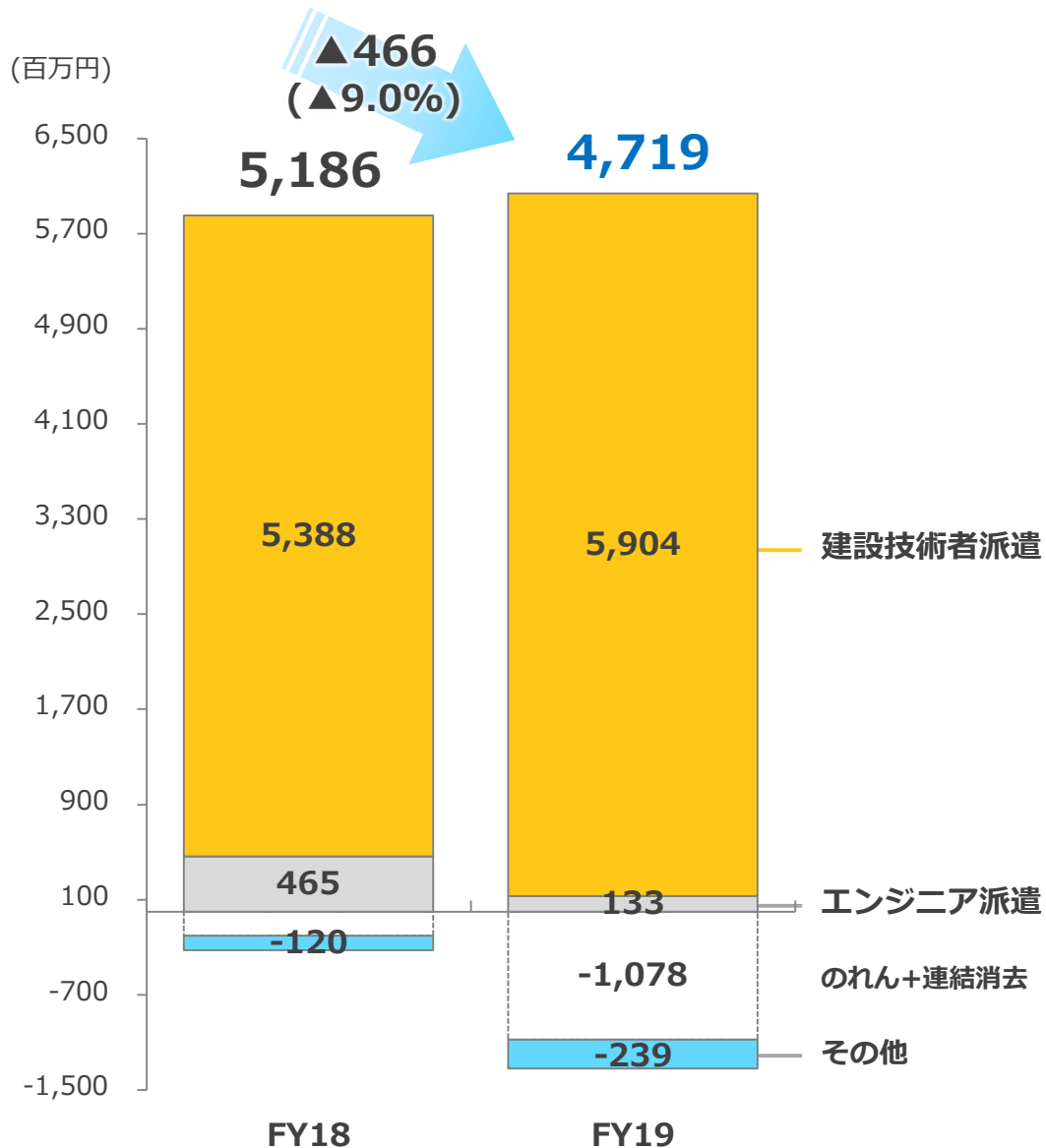
■ 稼働人数の増加・派遣単価の上昇による増収
■ 連結子会社の増加による増収

その他 +800百万 (+157.5%)

■ 不採算事業の撤退・縮小
■ 連結子会社の増加による増収

連結P/L (3) 営業利益

■ 採用費及びM&A費用等のグループ体制強化のための先行投資で9%減益



[主な増減要因]

建設技術者派遣 +516百万 (▲9.6%)

- 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増益
- ローコストオペレーションによる増益

エンジニア派遣 ▲331百万 (▲71.3%)

- 採用活動強化のための販管費増加による減益

その他 ▲119百万 (▲99.1%)

- 教育事業の広告先行投資による減益
- 海外人材紹介の営業体制構築による減益

※ 増減要因には上記の他に「のれん+連結消去 ▲1,078百万円」が含まれます。

連結 P/L サマリー

(百万円)

	FY2018	FY2019	増減額	増減率
売上高	40,419	52,505	+12,085	29.9%
売上総利益	12,338 (30.5%)	15,271 (29.1%)	+2,933	23.8%
販売費及び一般管理費	7,152 (17.7%)	10,552 (20.1%)	+3,399	47.5%
営業利益	5,186 (12.8%)	4,719 (9.0%)	▲466	▲9.0%
経常利益	4,940 (12.2%)	4,557 (8.7%)	▲382	▲7.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,635 (9.0%)	2,504 (5.0%)	▲1,131	▲31.1%

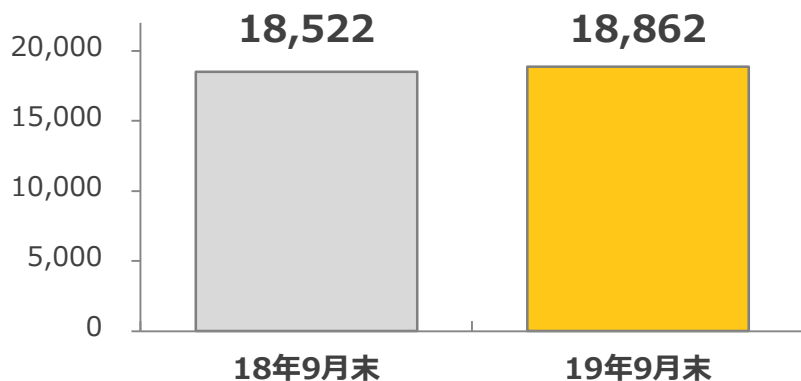
※ () = 売上高比率

連結B/Sの状況

連結B/Sの状況

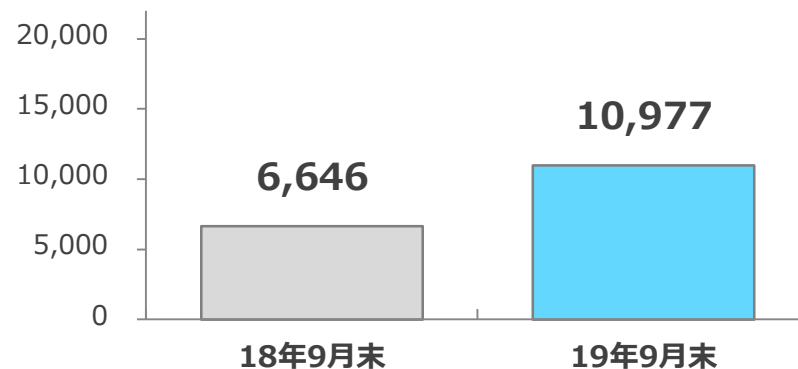
流動資産

(百万円)



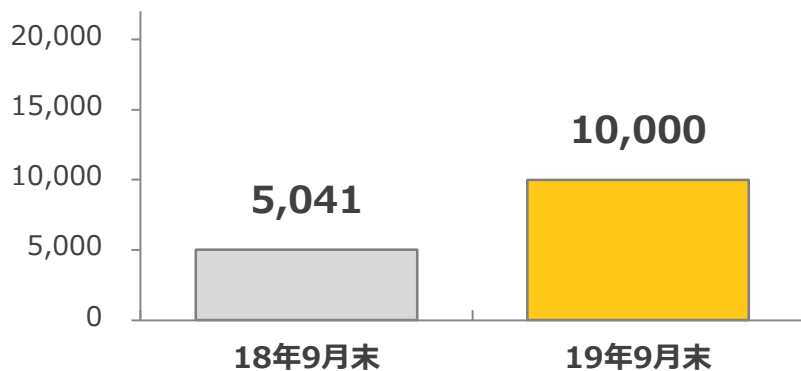
流動負債

(百万円)



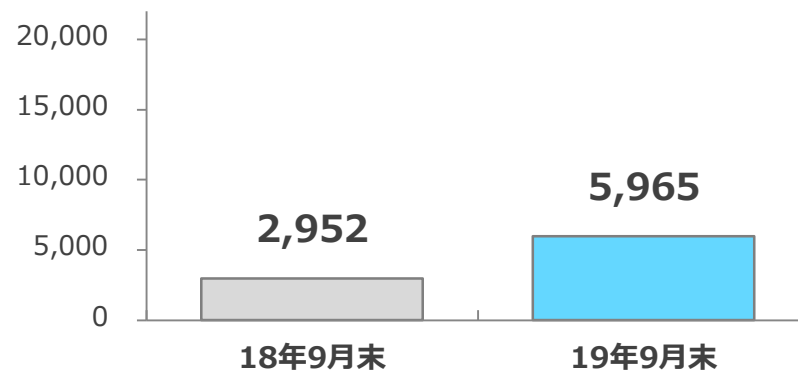
固定資産

(百万円)



固定負債

(百万円)



連結B/S (1) 資産の部

(百万円)

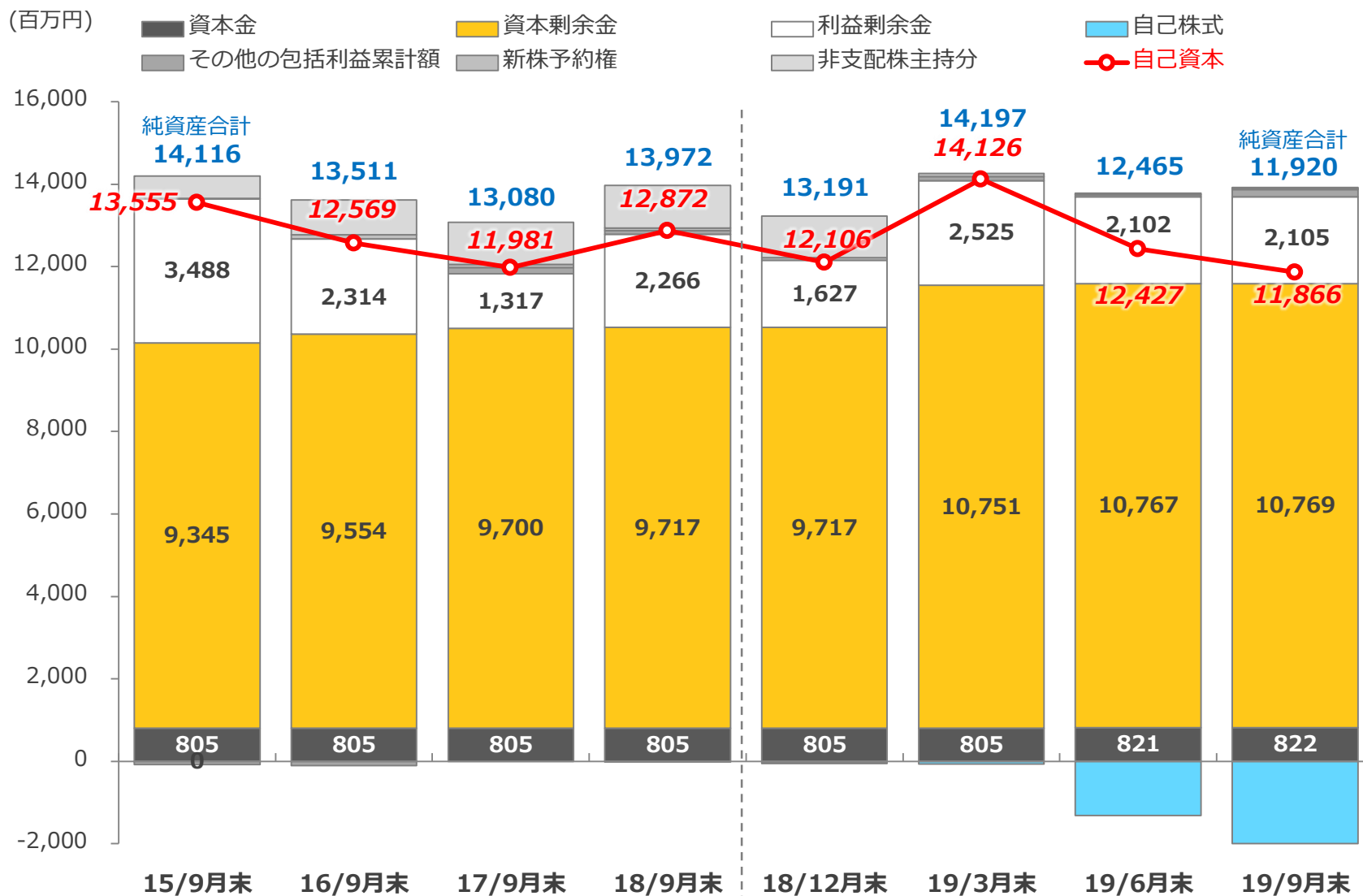
	2018年9月末	2019年9月末	増減額	摘要
資産の部	23,571	28,863	+5,292	
流動資産	18,522	18,862	+340	
現金及び預金	11,300	9,607	▲1,693	
受取手形及び売掛金	5,973	7,650	+1,676	派遣先の増加による増加
電子記録債権	9	3	▲5	
たな卸資産	0	57	+56	
貸倒引当金	▲17	▲71	▲53	
固定資産	5,041	10,000	+4,959	
有形固定資産	938	1,261	+322	M&Aによるグループ会社増加による増加
建物及び構築物	435	610	+175	
機械装置及び運搬具	3	302	+299	
土地	395	245	▲150	
無形固定資産	744	4,518	+3,774	
のれん	610	3,615	+3,005	関係会社株式の取得による増加
その他	134	903	+769	
投資その他の資産	3,358	4,220	+861	
投資有価証券	2,052	1,856	▲196	
繰延税金資産	445	805	+360	
貸倒引当金	▲38	▲65	▲26	

連結B/S (2) 負債・純資産の部

(百万円)

	2018年9月末	2019年9月末	増減額	摘要
負債+純資産	23,571	28,863	+5,292	
負債の部	9,598	16,942	+7,343	
流動負債	6,646	10,977	+4,330	
支払手形及び買掛金	9	129	+120	
短期借入金	100	2,632	+2,532	1. 運転資金 2. 自社株取得資金 3. M&A関連費用 上記3点の要因により増加
1年内返済予定の長期借入金	1,208	1,826	+617	
未払法人税等	1,082	724	▲357	
未払費用	2,025	2,546	+520	
賞与引当金	634	834	+199	
株主優待引当金	74	207	+133	
固定負債	2,952	5,965	+3,013	
長期借入金	2,538	5,169	+2,631	
退職給付に係る負債	306	323	+16	
純資産の部	13,972	11,920	▲2,051	
株主資本	12,789	11,696	▲1,093	
資本金	805	822	+17	
資本剰余金	9,717	10,769	+1,051	吸収合併したグループ会社の資本金
利益剰余金	2,266	2,105	▲161	FY19純利益 - FY18期末配当 - FY19中間配当
自己株式	▲0	▲2,001	▲2,001	自己株式の取得
その他の包括利益累計額	82	169	+87	
新株予約権	72	36	▲35	
非支配株主持分	1,027	17	▲1,010	

連結B/S (3) 自己資本推移



※ 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分 - 新株予約権

FY2018

セグメント別概要

建設技術者派遣事業



1. 採用 前年比19%増
→ 在籍数 前年比20%増
2. 派遣単価 前年比 3%上昇
3. 定着率 70%以上を維持



技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

×

派遣単価



売上高

技術者数（1）採用実績



建設技術者派遣

■ 年間採用目標2,800人に対し、117.5%で着地

(単位：人)

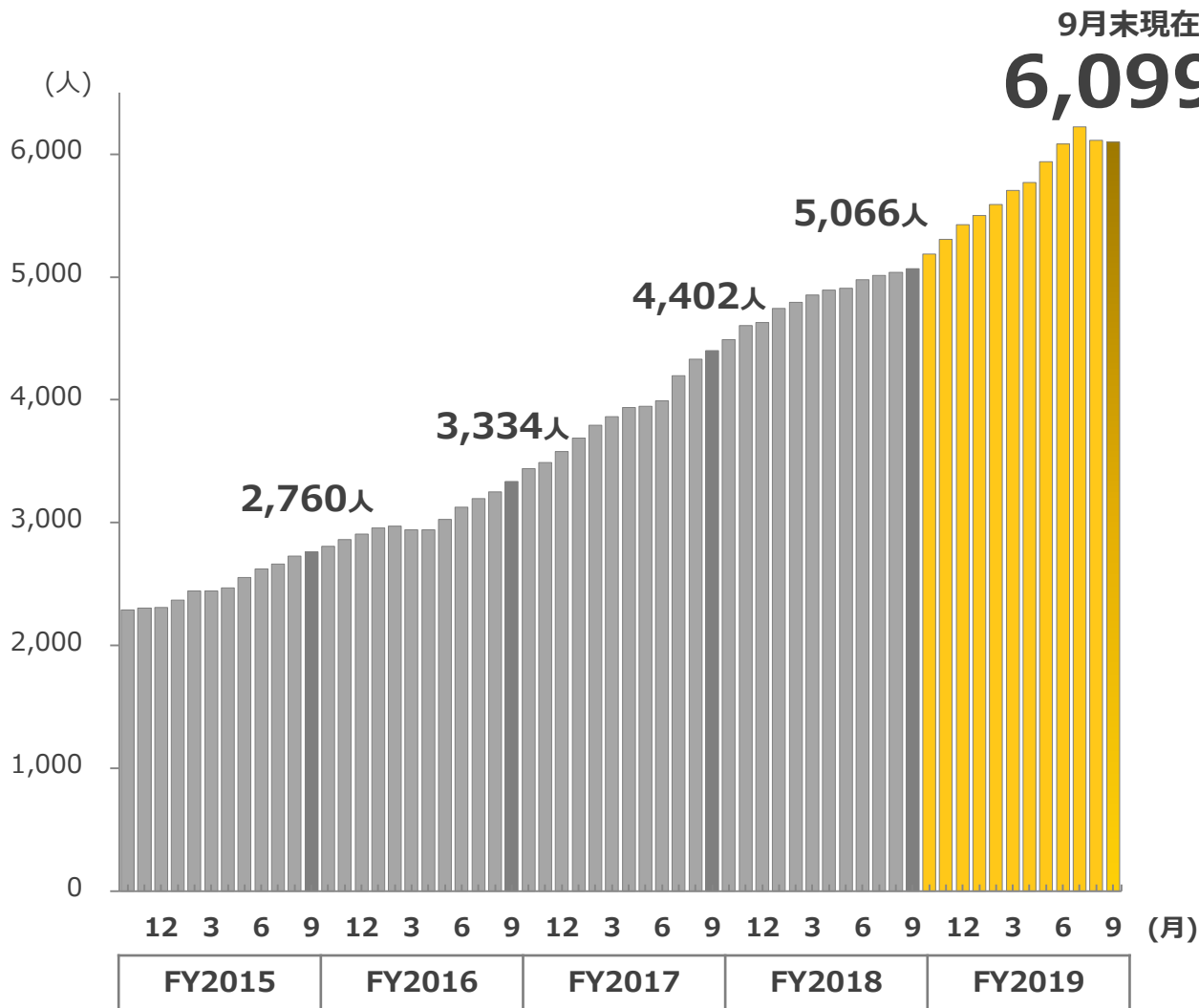
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY18 採用実績	698			673			1,371
FY19 採用実績	774			829			1,603
増減	+76			+156			+232

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY18 採用実績	716			677			1,393	2,764
FY19 採用実績	1,025			661			1,686	3,289
増減	+309			+113			+293	+525

技術者数（2） 在籍人数の推移



- 期末技術者数目標 5,900人の計画をQ3に前倒しで達成
- 期末にかけて採用数を抑えたものの前年同月末比 約1,000人増加



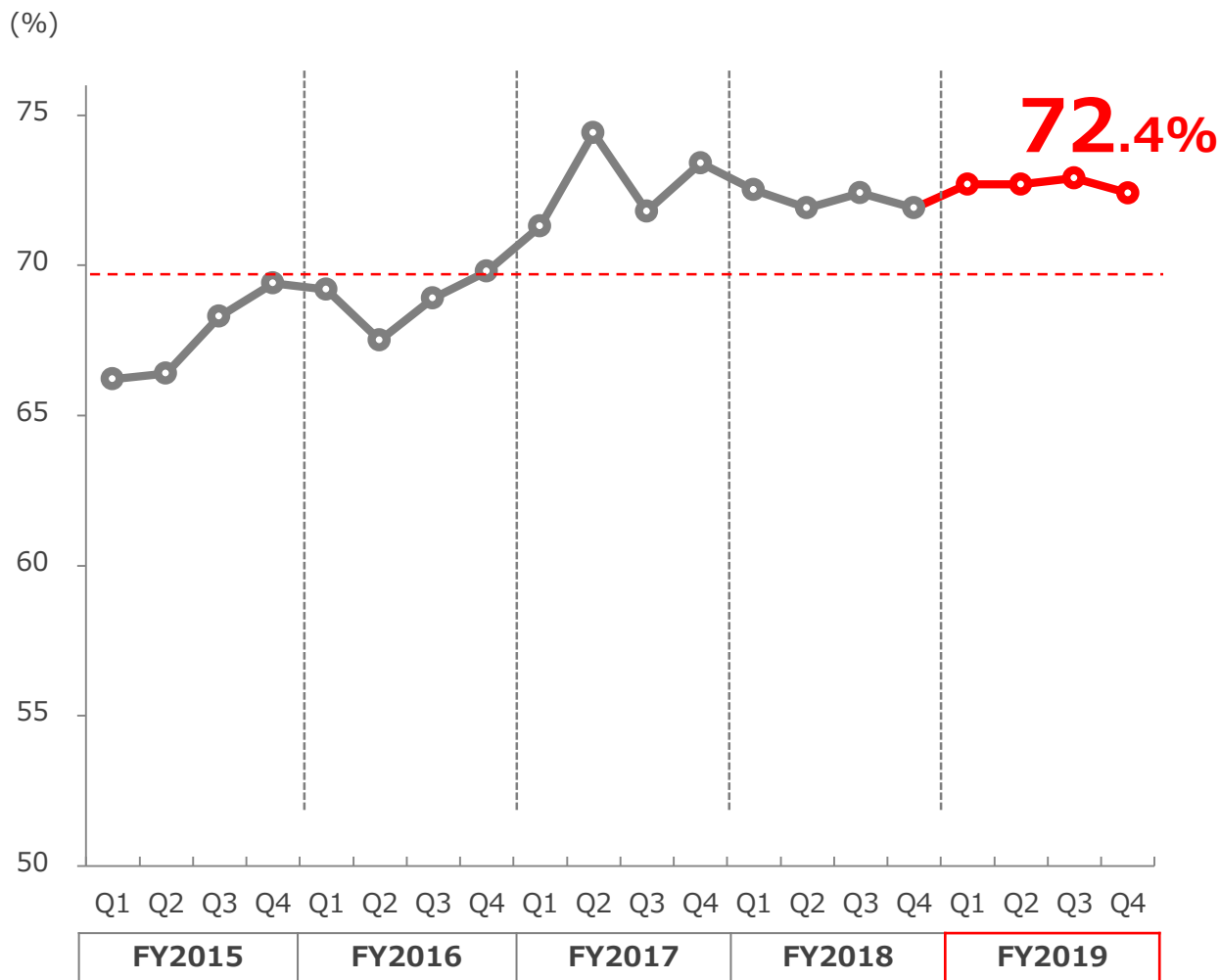
平均技術者数 12ヶ月平均 (10~9月)		
FY	人数	YoY
FY2015	2,497人	
FY2016	3,027人	+21.3%
FY2017	3,889人	+28.5%
FY2018	4,852人	+24.8%
FY2019	5,746人	+18.4%

※ 各月末技術者数

技術者数 (3) 定着率の推移



■ 継続的な改善施策で72%以上で安定的に推移

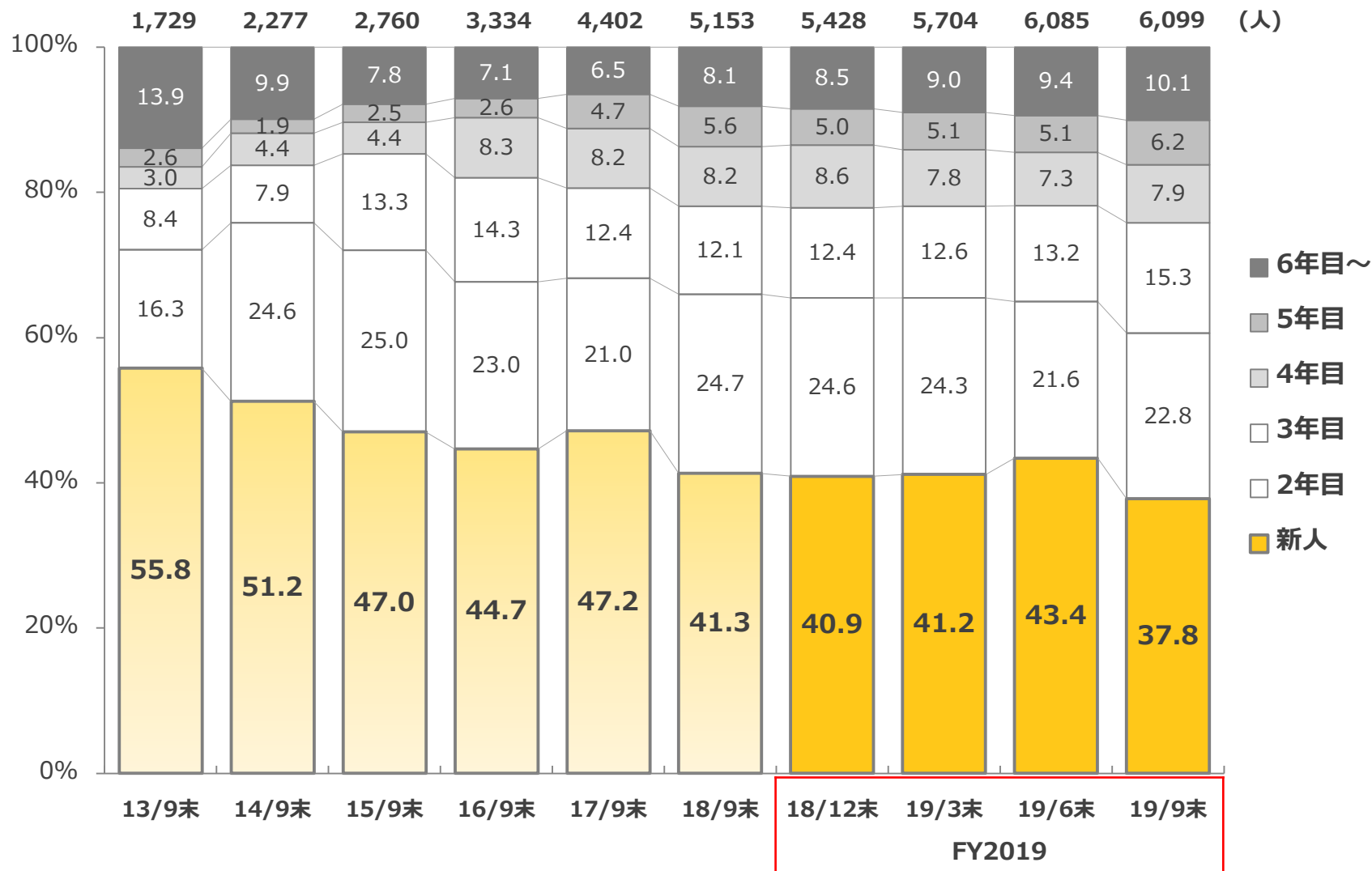


平均定着率 12ヶ月平均 (10~9月)		
FY2015	67.6%	YoY
FY2016	68.9%	+1.3pt.
FY2017	72.7%	+3.9pt.
FY2018	72.2%	▲0.5pt.
FY2019	72.7%	+0.5pt.

※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

技術者数（４） 在籍年数別の割合

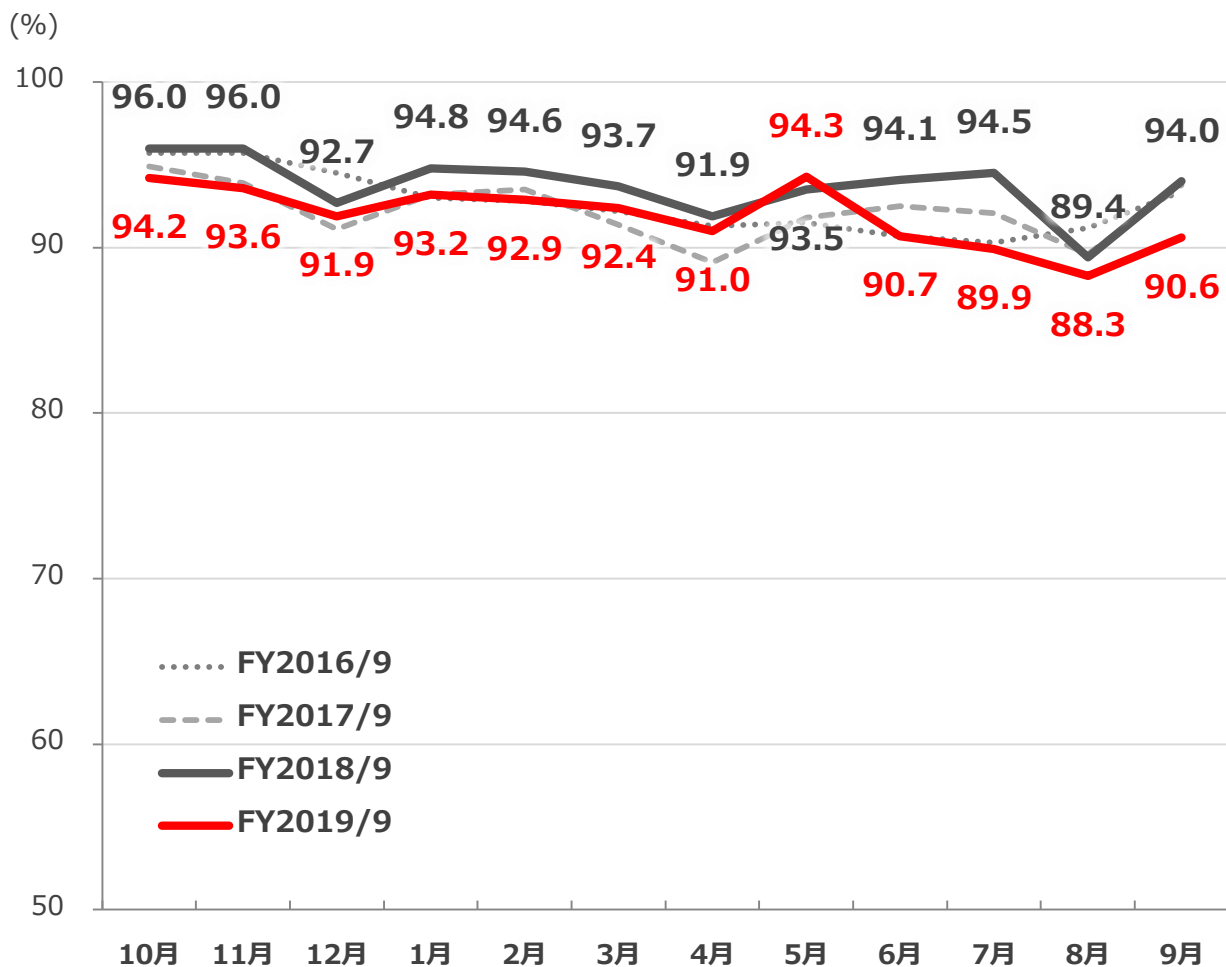
■ 採用数増加も定着率維持により新人の比率は低下



稼働率の推移



■ 採用人数増加により稼働率は低下



平均稼働率
12ヶ月平均 (10~9月)

年次	平均稼働率	YoY
FY2016	92.7%	YoY
FY2017	92.2%	▲0.4pt.
FY2018	93.8%	+1.5pt.
FY2019	91.9%	▲1.9pt.

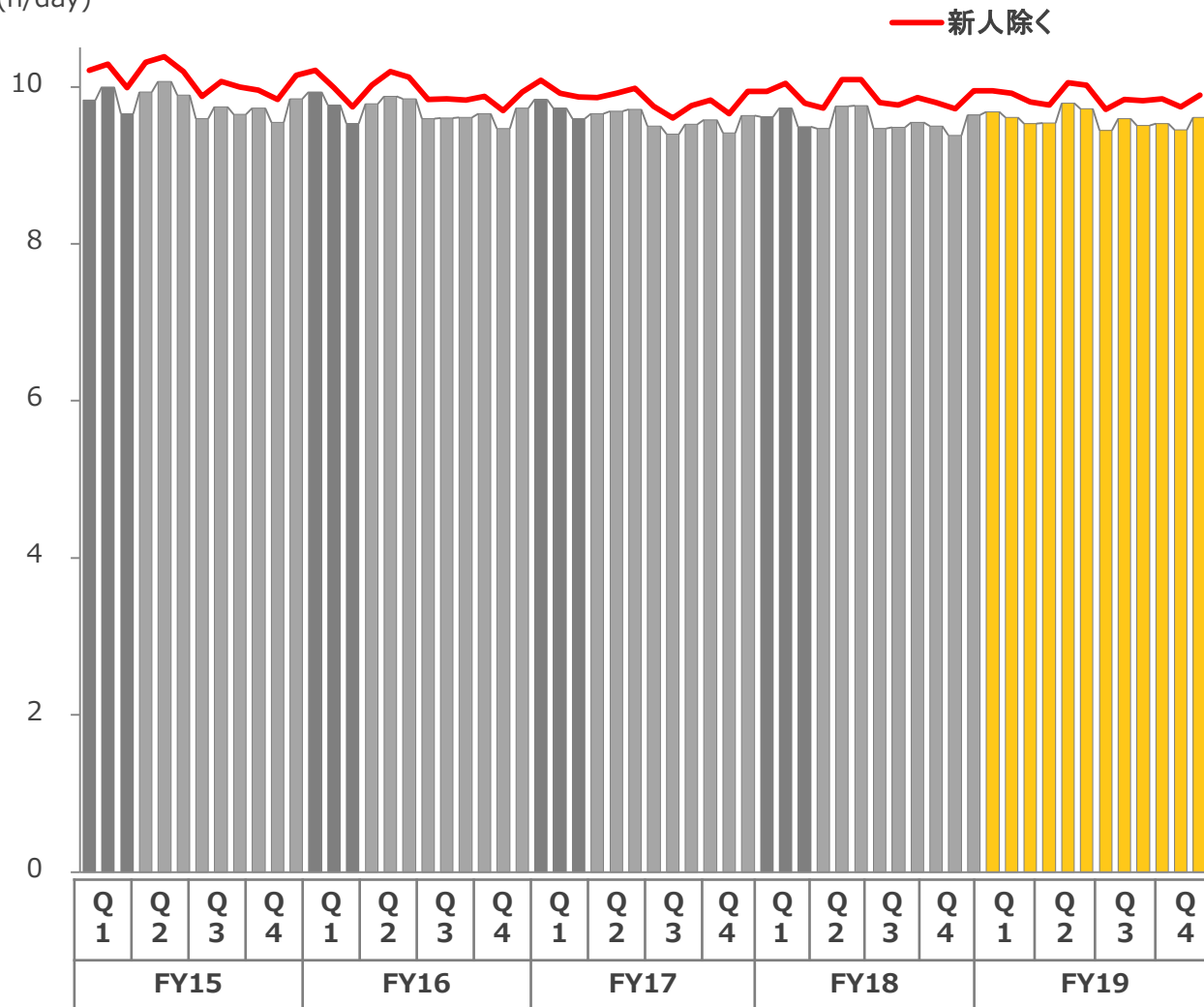
Q1	Q2	Q3	Q4
----	----	----	----

稼働時間の推移



- 「働き方改革」などの労務管理意識の高まりにより稼働時間は減少傾向
- 短期的には需要の高まりにより微増

(h/day)



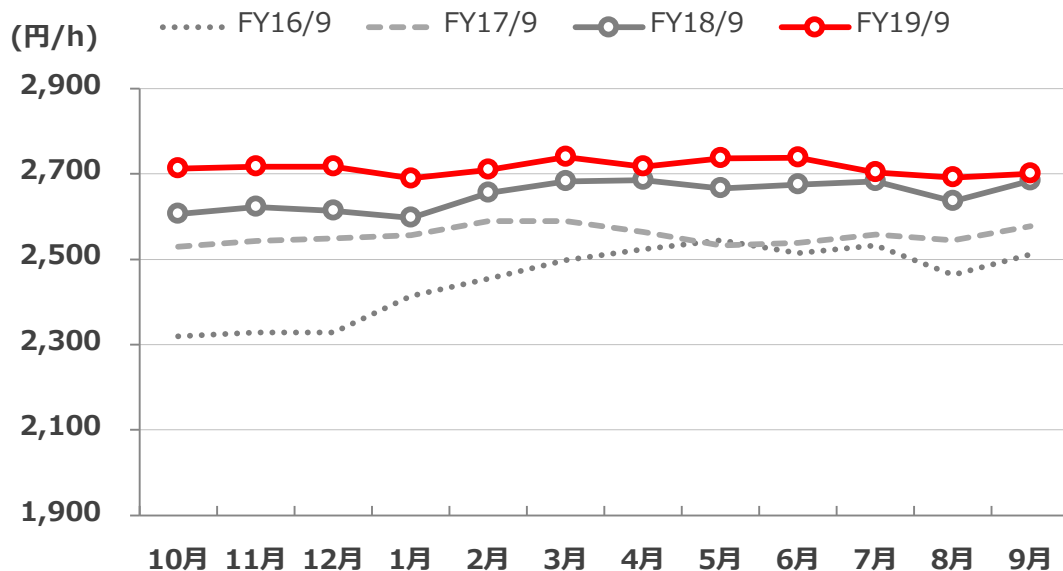
全技術者 平均稼働時間
12ヶ月平均 (10~9月)

FY	Average Working Hours	YoY Change
FY2015	9.79h	YoY
FY2016	9.70h	▲0.9%
FY2017	9.61h	▲1.0%
FY2018	9.57h	▲0.4%
FY2019	9.58h	+0.1%

派遣単価 (1) 新人・2年目

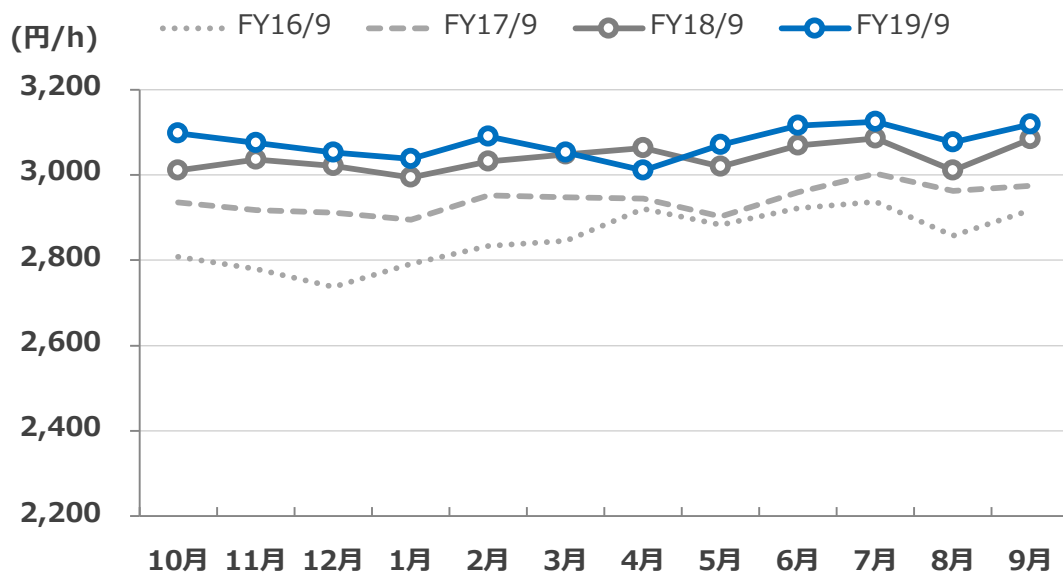


建設技術者派遣



新人のみ
12ヶ月平均 (10~9月)

年度	単価 (円/h)	YoY (%)
FY2016	2,453	
FY2017	2,556	+4.2%
FY2018	2,650	+3.7%
FY2019	2,714	+2.4%



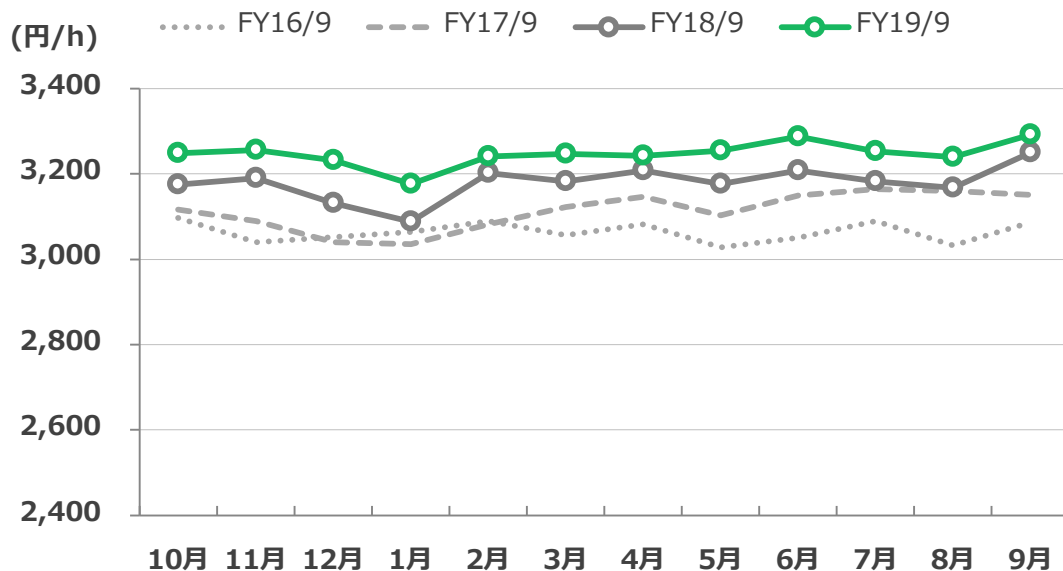
2年目のみ
12ヶ月平均 (10~9月)

年度	単価 (円/h)	YoY (%)
FY2016	2,853	
FY2017	2,942	+3.1%
FY2018	3,040	+3.3%
FY2019	3,078	+1.3%

派遣単価 (2) 3年目・4年目以降

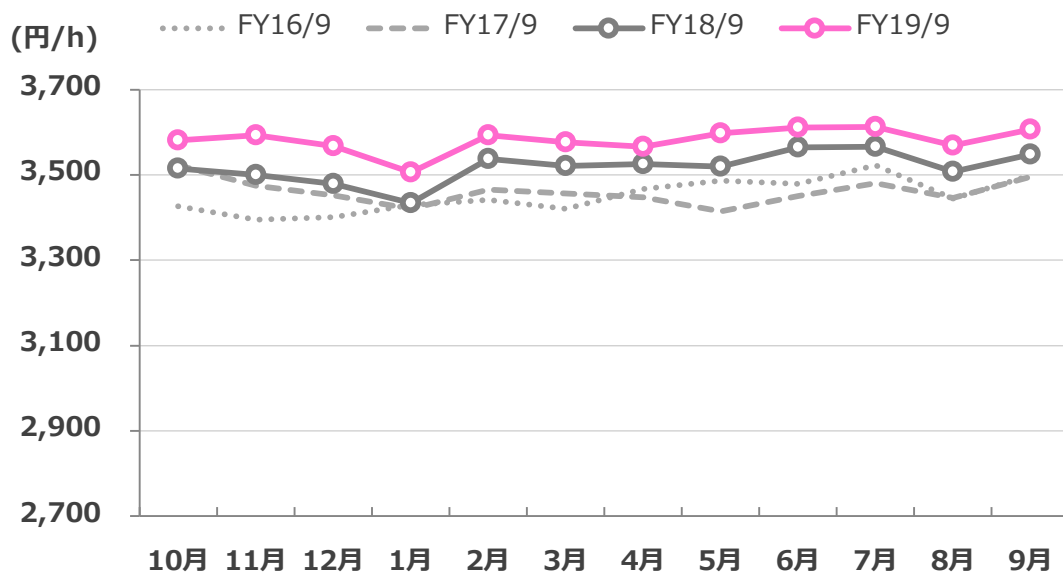


建設技術者派遣



3年目のみ
12ヶ月平均 (10~9月)

FY	単価 (円/h)	YoY (%)
FY2016	3,064	YoY
FY2017	3,113	+1.6%
FY2018	3,180	+2.1%
FY2019	3,247	+3.0%



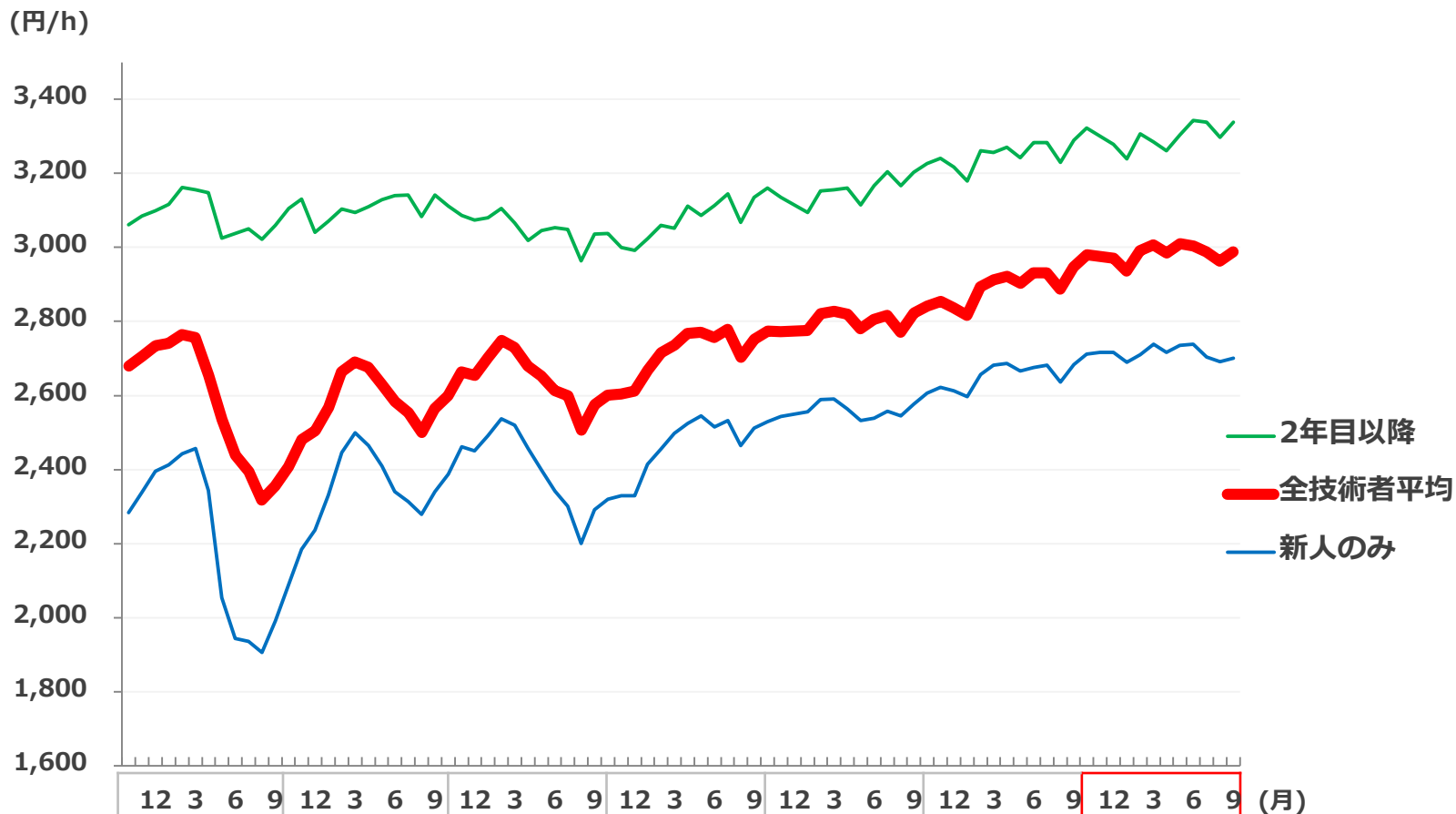
4年目以降
12ヶ月平均 (10~9月)

FY	単価 (円/h)	YoY (%)
FY2016	3,451	YoY
FY2017	3,461	+0.3%
FY2018	3,518	+1.7%
FY2019	3,582	+1.8%

派遣単価 (3) 中期推移



- 旺盛な需要を背景にFY2015以降上昇が続く
- 構成比率の高い新人技術者の派遣単価上昇が利益率の向上に大きく寄与



	12 3 6 9 FY2013	12 3 6 9 FY2014	12 3 6 9 FY2015	12 3 6 9 FY2016	12 3 6 9 FY2017	12 3 6 9 FY2018	12 3 6 9 FY2019	(月)
全社平均 (Q1-Q4)	2,590円	2,569円	2,644円	2,706円	2,797円	2,890円	2,983円	
	YoY	▲0.8%	+2.9%	+2.3%	+3.4%	+3.3%	+3.2%	

KPI サマリー



建設技術者派遣

- 建設業界の人手不足を背景に、4年連続で派遣単価上昇
- 積極的な採用活動の結果、技術者数が増加するも稼働率は低下

全技術者 12ヶ月平均 (10~9月)

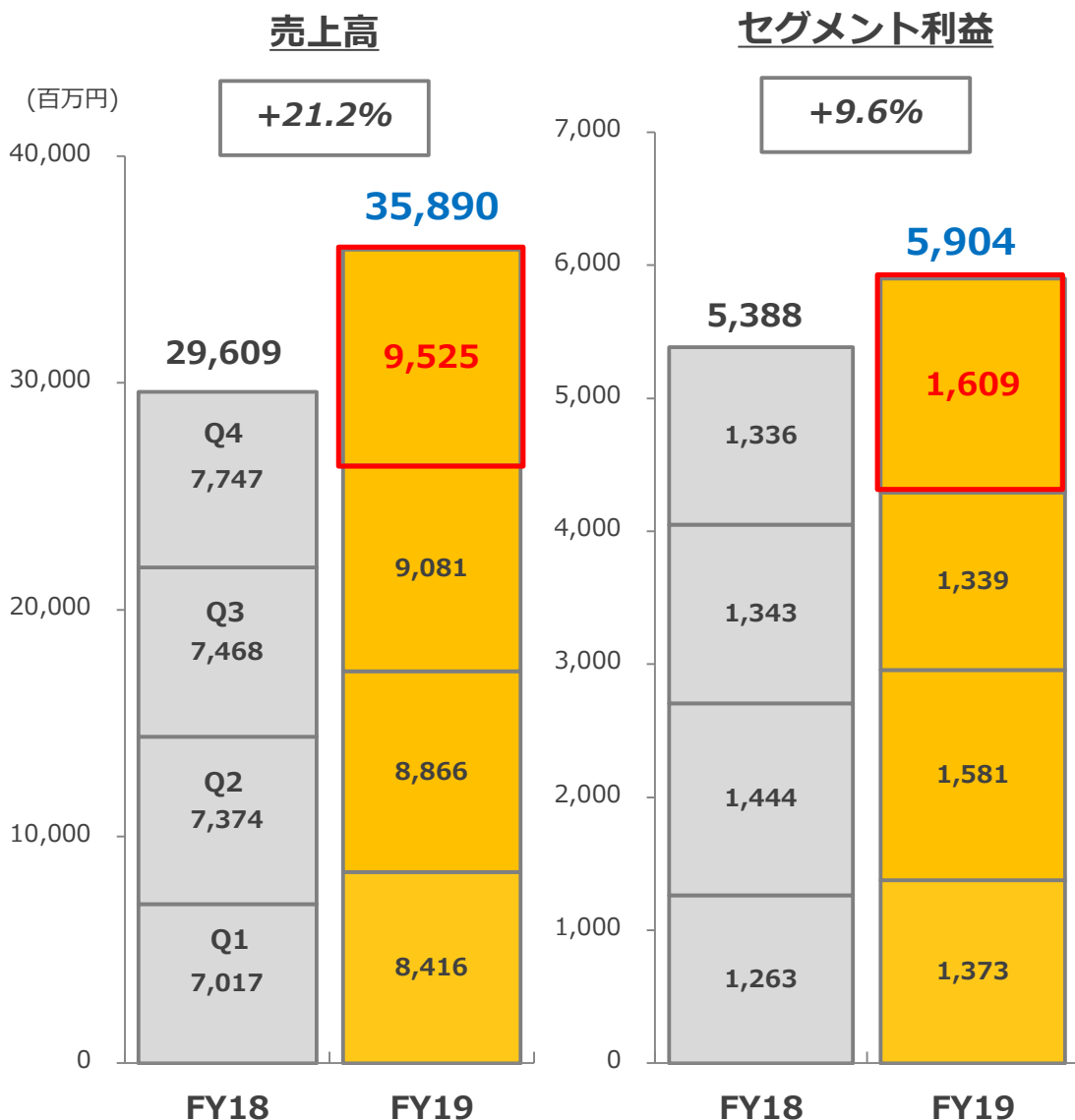
	FY2018	FY2019	増減	増減率
技術者数	4,835人	5,588人	753人	+15.6%
稼働率	93.8%	91.9%	▲1.9pt.	—
稼働時間	9.57h	9.58h	+0.01h	+0.1%
派遣単価	2,890yen	2,983yen	+93yen	+3.2%

セグメント業績 売上と利益



建設技術者派遣

■ 売上高は技術者数の積み上げにより連続増収



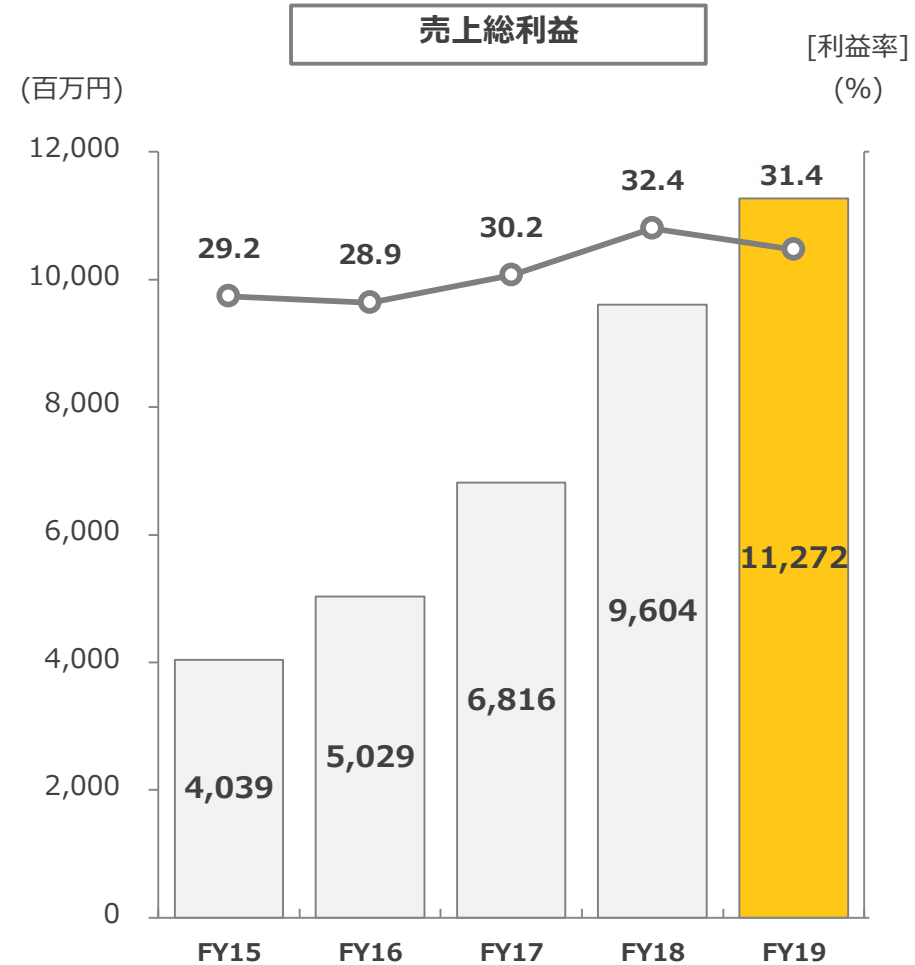
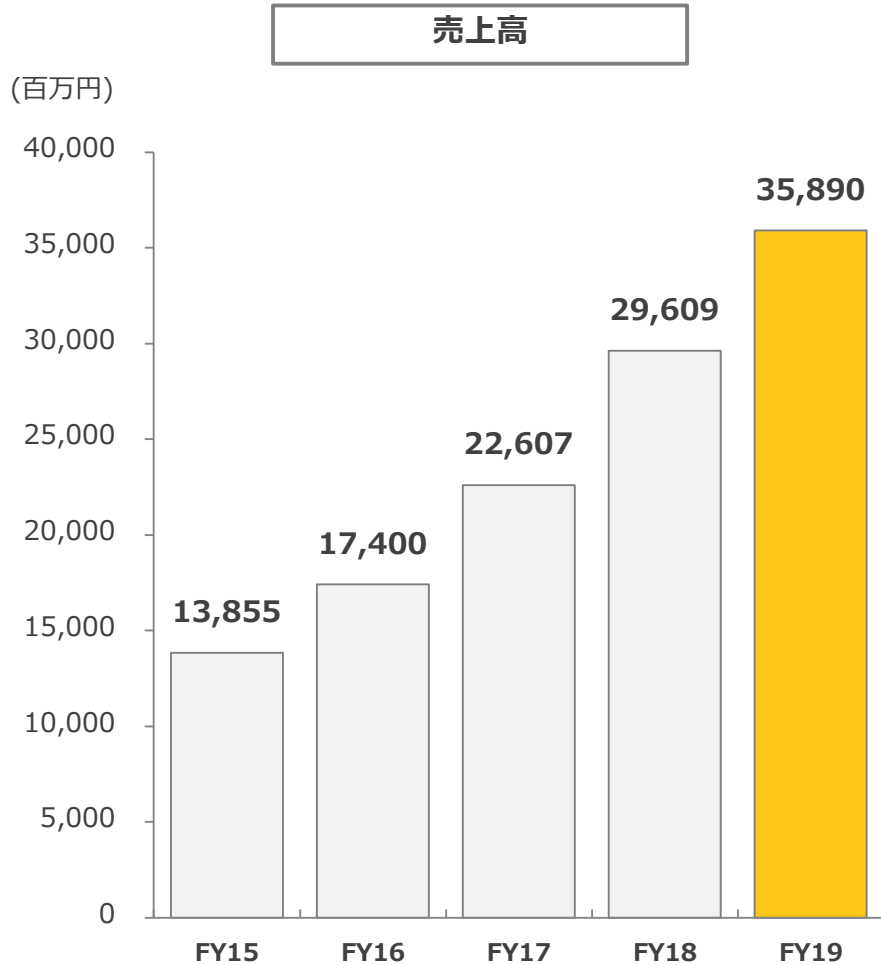
第4半期
売上高
営業利益ともに
過去最高

セグメントP/L (1) 売上高・売上総利益



建設技術者派遣

- 売上高 ⇒ 積極採用+定着率維持 → 前年比 +21%
- 売上総利益 ⇒ 稼働人数増加+稼働率低下 → 前年比 +17%



販売費及び一般管理費



建設技術者派遣

- 営業及び管理部門の増員による人件費の増加 ⇒ 人件費21%増加
- 若手・未経験メインだった採用に経験者採用をプラス&採用人数の計画上振れ ⇒ 採用コスト33%増加

(百万円)

	FY2018	FY2019	増減額	摘要
販売費及び一般管理費	4,216	5,368	+1,151	
人件費	1,949	2,357	+408	営業及び管理部門の増員による増加
広告宣伝費	27	18	▲8	
採用費	1,235	1,640	+404	ベテラン技術者の積極採用開始による増加
業務委託費	150	178	+27	
販管费率	14.2%	15.0%	+0.7pt.	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)

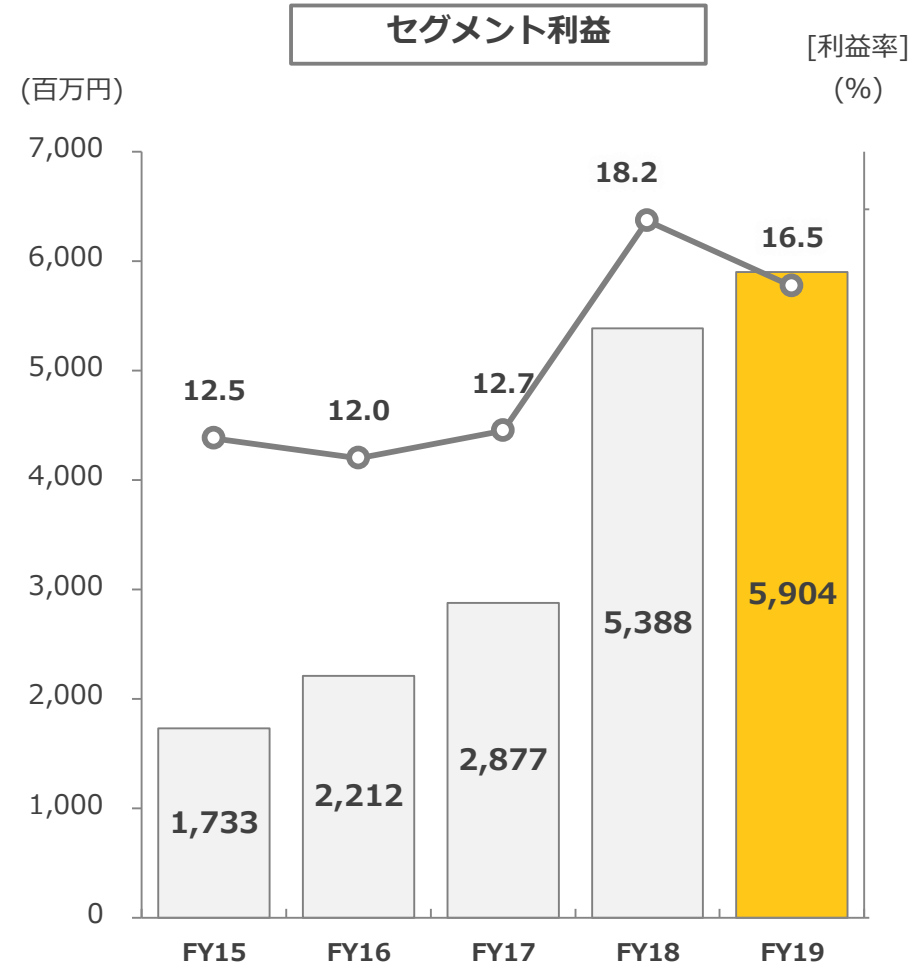
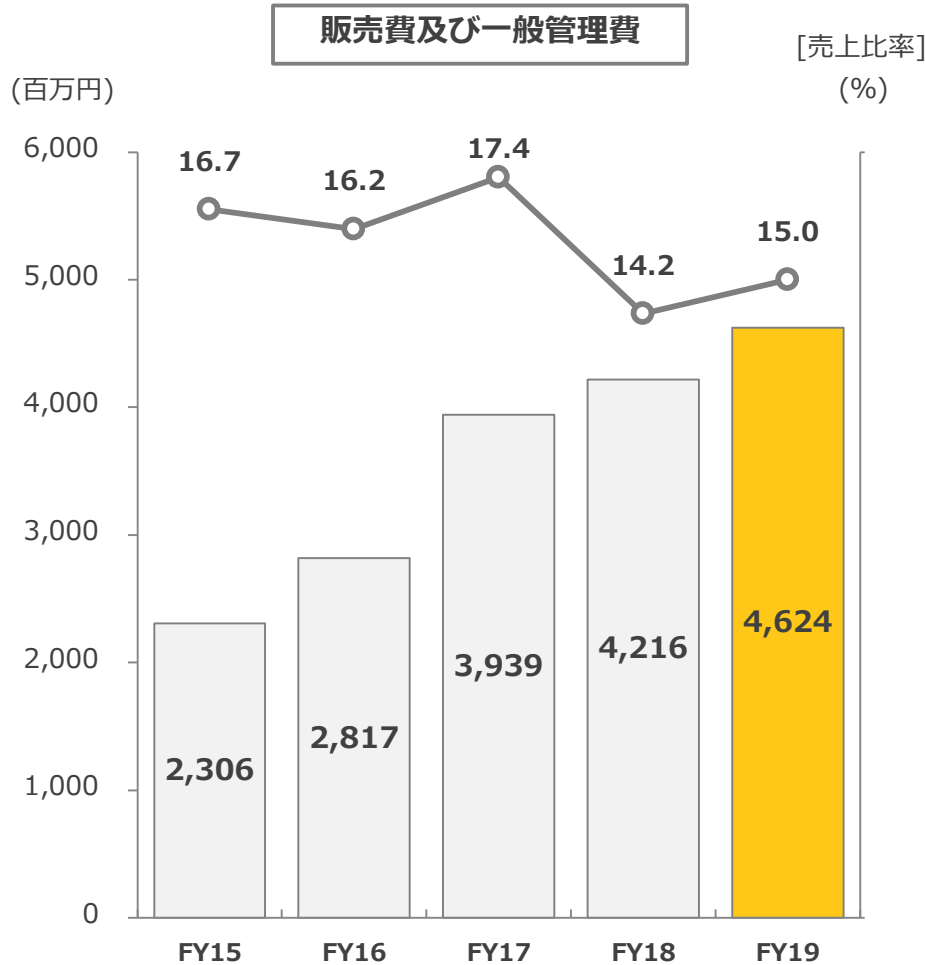
※ FY19Q3より組入方針を変更したことにより、前期の数値は変更後の集計基準に対応しています。

セグメントP/L (2) 販管費・営業利益



建設技術者派遣

- 販売費及び一般管理費 ⇒ 採用コスト先行するも計画採用人数118%達成
- セグメント利益 ⇒ 売上総利益と販管費の増加こなし増益 +10%



エンジニア派遣事業



■ 年間採用計画1,800人に対し97.1%の達成率 前年比56%増加

(単位：人)

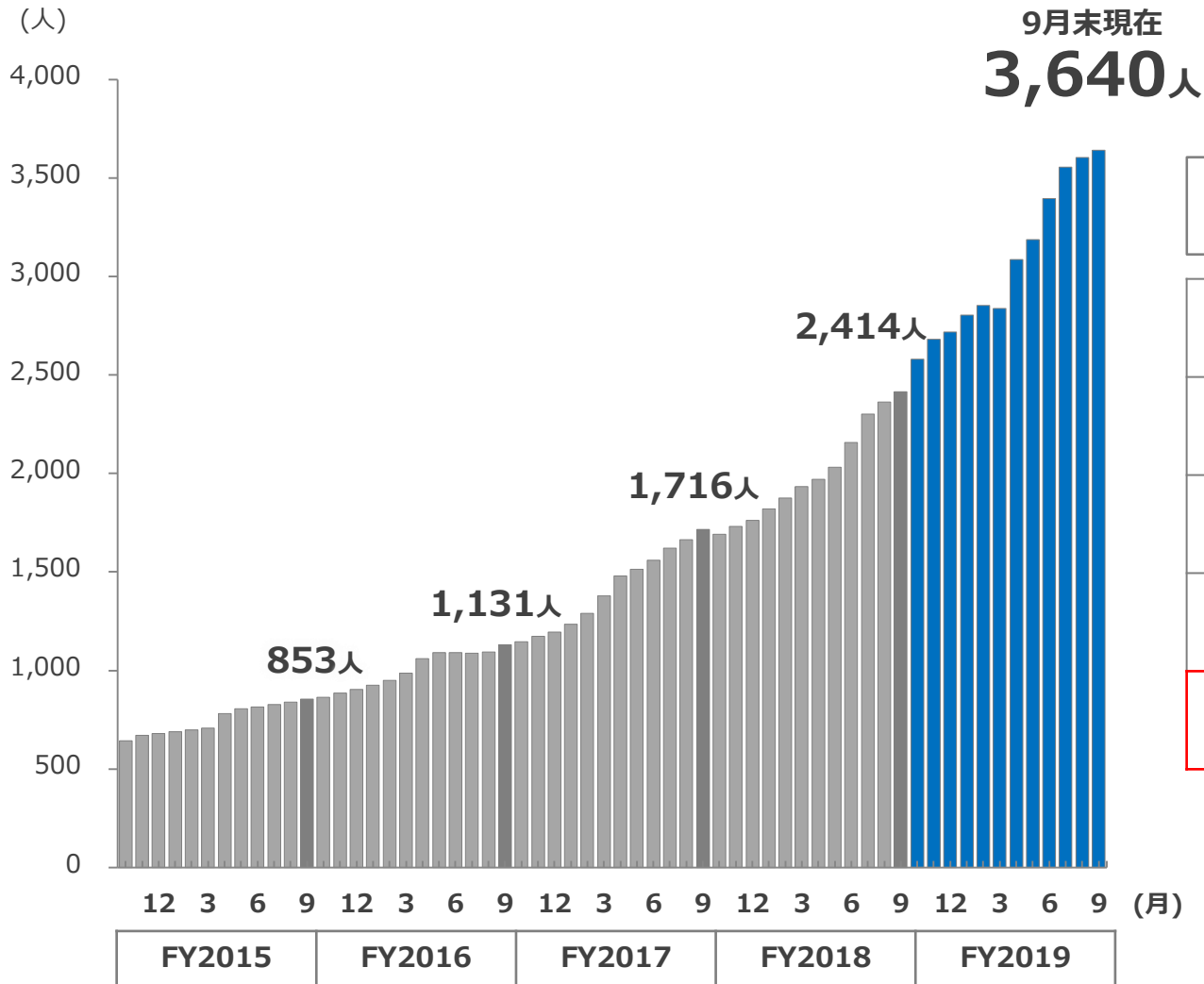
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10~3月 累計
FY18 採用実績		159			270		429
FY19 採用実績		362			344		706
前年比		+203			+74		+277

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4~9月 累計	10~9月 累計
FY18 採用実績		303			386		689	1,118
FY19 採用実績		584			458		1,043	1,748
前年比		+281			+72		+354	+630

在籍エンジニア数の推移



- 期末エンジニア数目標 3,400人に対し達成率 107.1%
- 前年同月末比 1,226人増加 (+50.8%)



平均技術者数
12ヶ月平均 (10~9月)

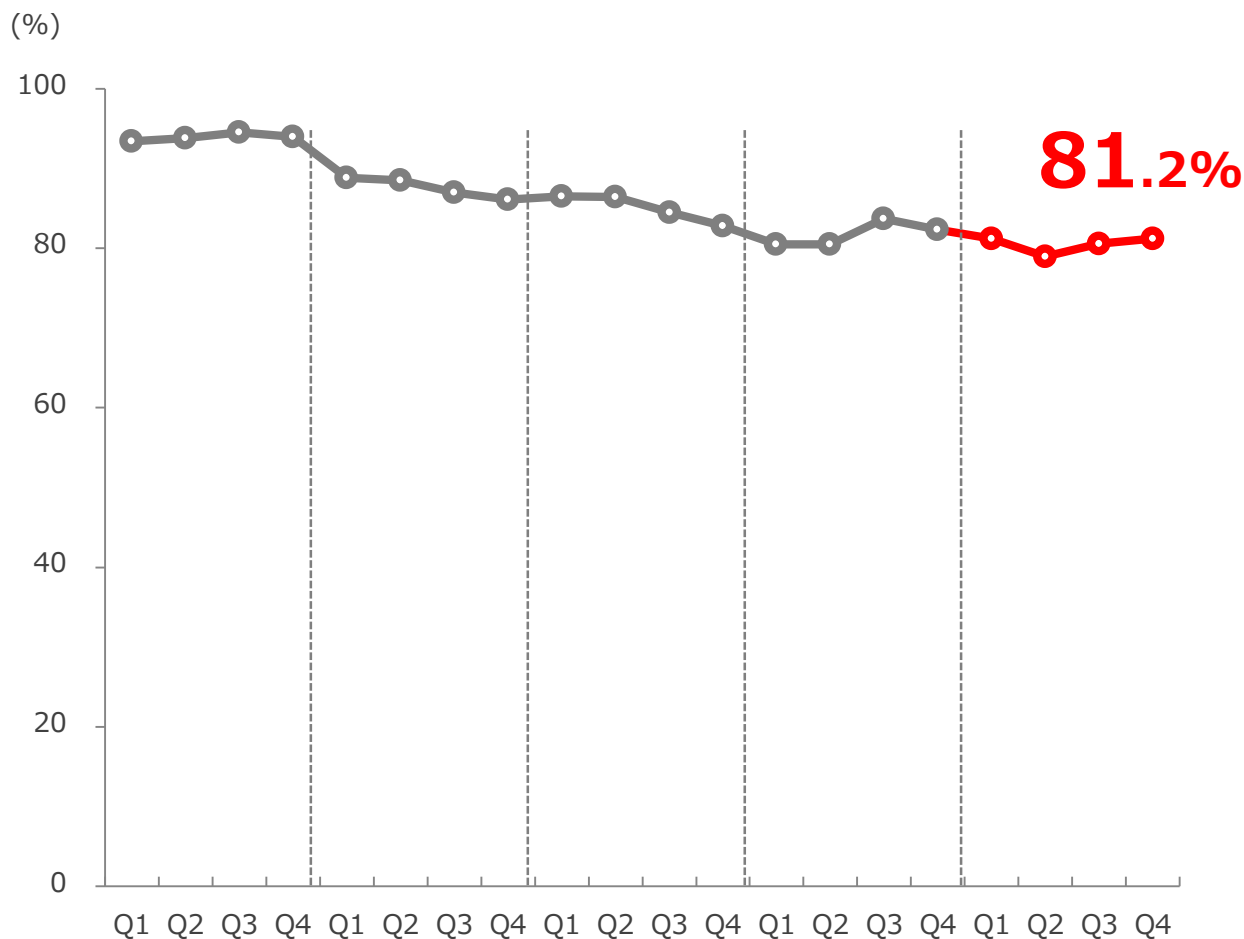
FY	平均技術者数	YoY
FY15	751人	
FY16	1,005人	+33.9%
FY17	1,414人	+40.7%
FY18	2,046人	+44.7%
FY19	3,078人	+50.4%

※ 各月末技術者数

定着率の推移



■ 採用数増加するも、ほぼ横ばいで80%台を推移



平均定着率
12ヶ月平均 (10~9月)

FY	定着率	YoY
FY15	93.8%	YoY
FY16	88.0%	△5.8pt
FY17	85.3%	△2.7pt
FY18	81.1%	△4.2pt
FY19	80.9%	△0.2pt

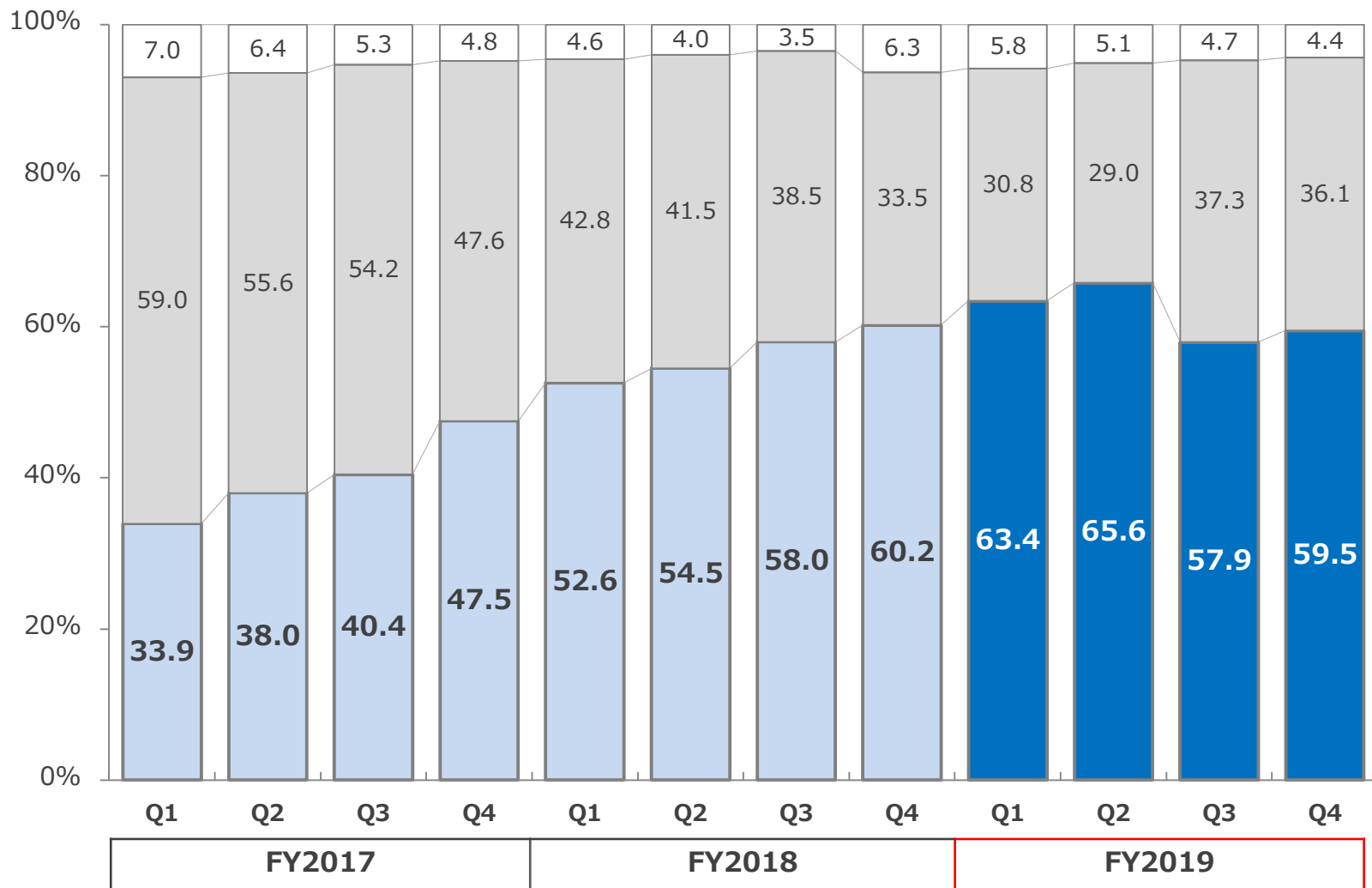
※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

※ 夢テクノロジーのみ



■ Q3での職位変更及び定着率横ばいによりミドルエンドの割合が増加

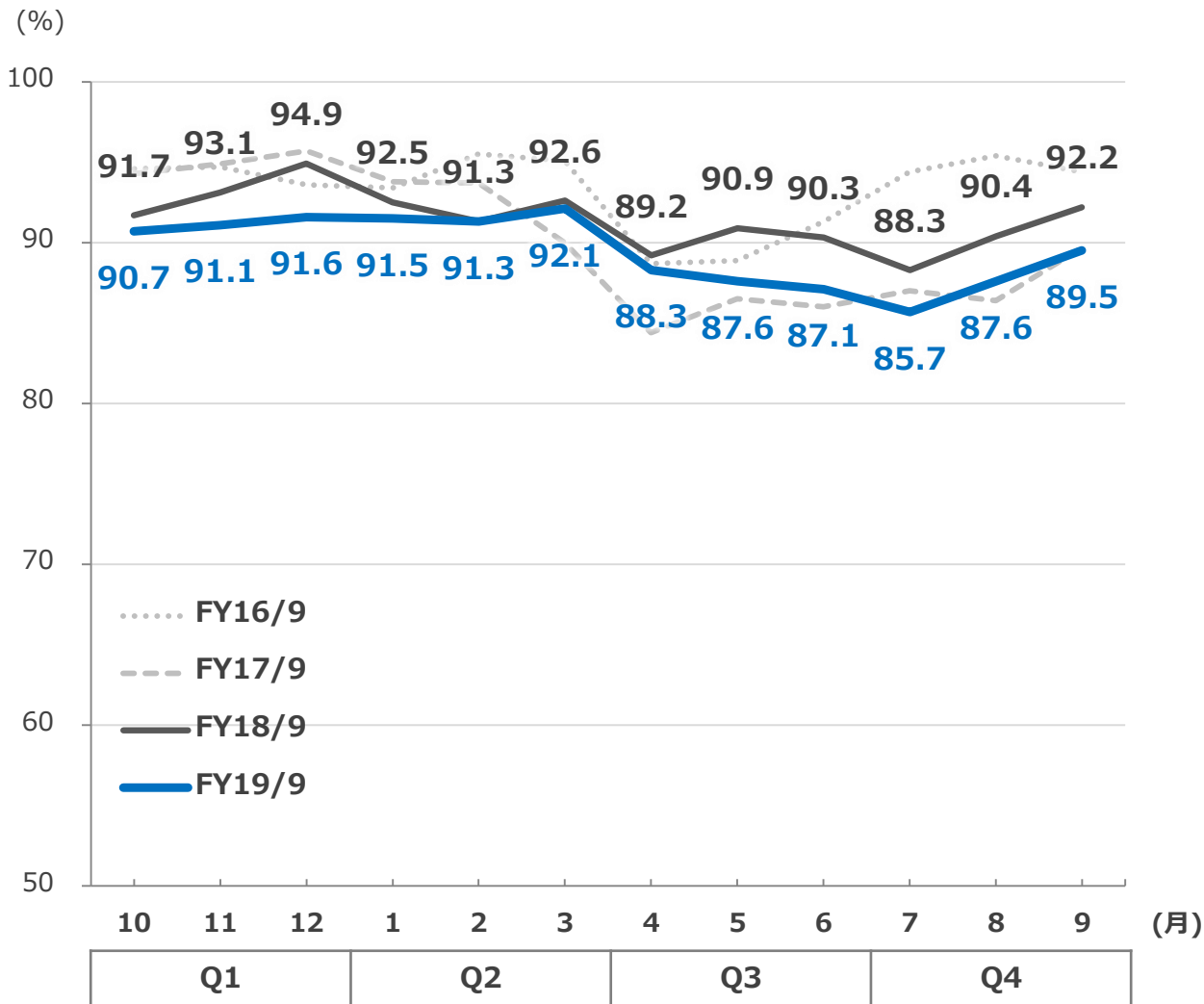
■ テクニカルスタッフ ■ ミドルエンド □ ハイエンド



稼働率の推移



■ 積極採用によりエンジニア数が増加したため、稼働率は低下

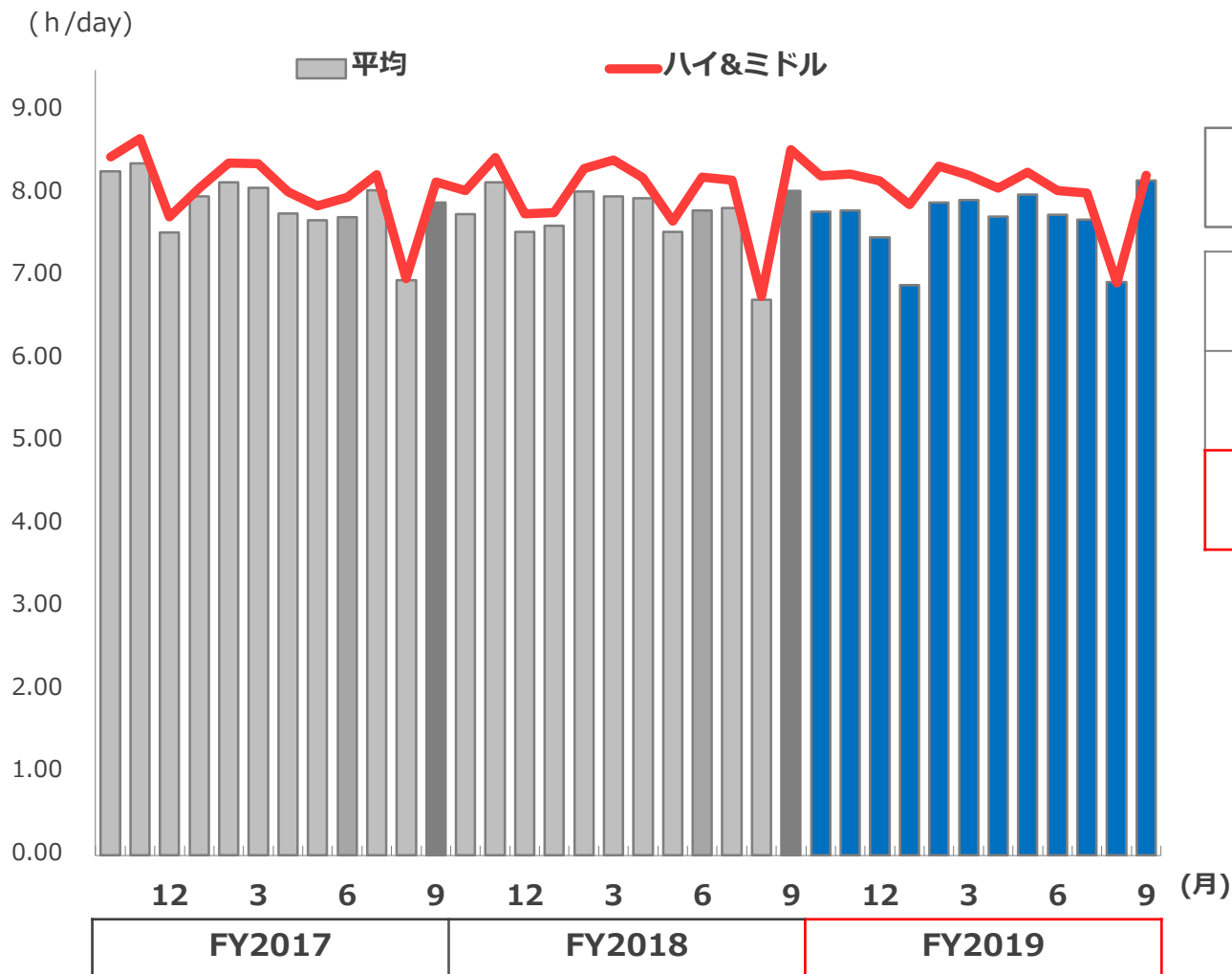


平均稼働率 12ヶ月平均 (10~9月)		
FY2016	93.3%	YoY
FY2017	90.2%	▲3.1pt.
FY2018	91.5%	+1.3pt.
FY2019	89.5%	▲2.0pt.

※夢テクノロジーのみ



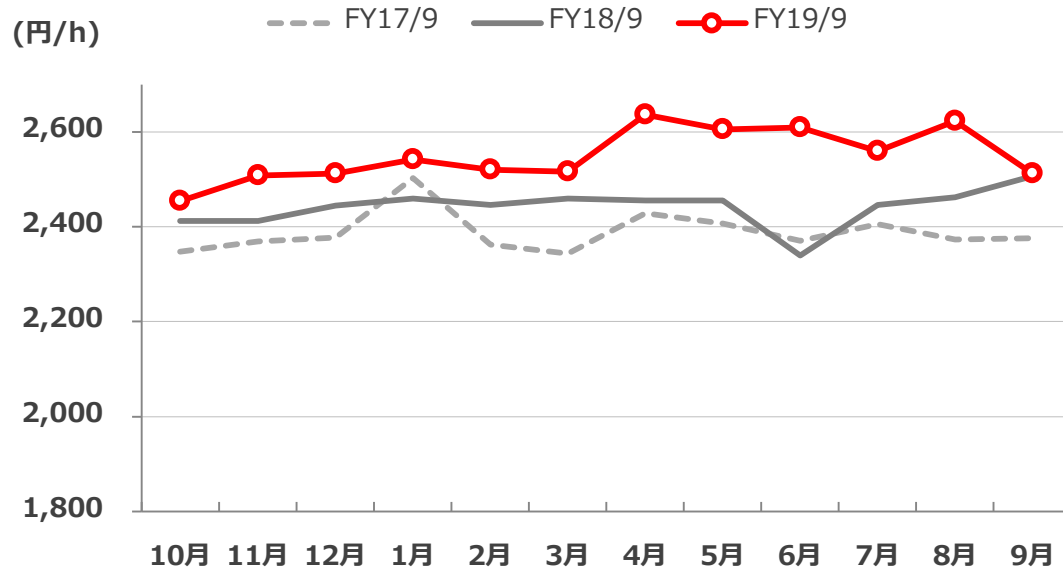
■ 「働き方改革」で労務管理意識の高まりにより稼働時間は減少傾向



平均稼働時間 12ヶ月平均 (10~9月)		
FY2017	8.06h	YoY
FY2018	7.89h	▲2.1%
FY2019	7.76h	▲1.6%

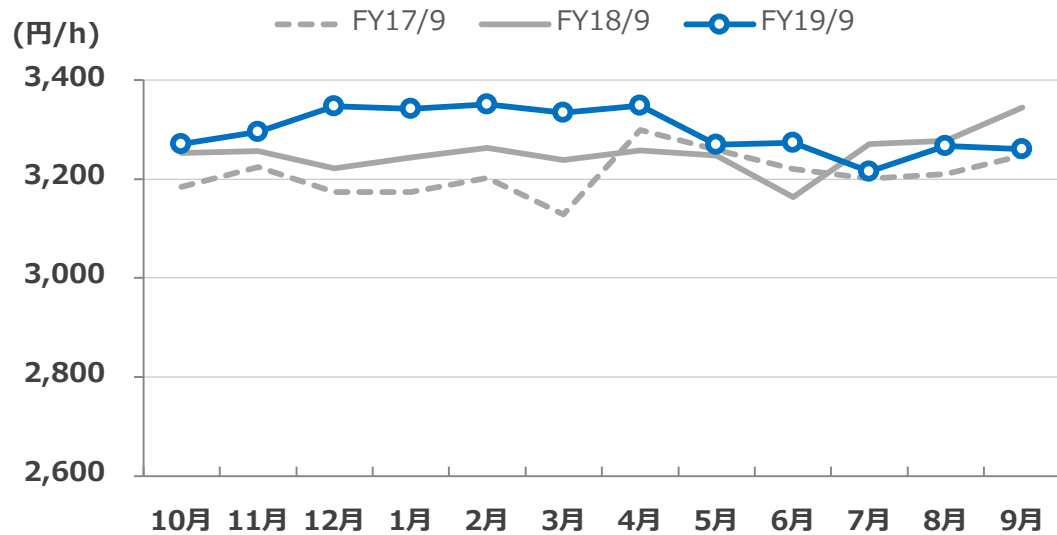
※夢テクノロジーのみ

派遣単価 (1)



テクニカルスタッフ 12ヶ月平均 (10~9月)

FY2017	2,389円	YoY
FY2018	2,442円	+2.2%
FY2019	2,550円	+4.4%



ミドルエンド 12ヶ月平均 (10~9月)

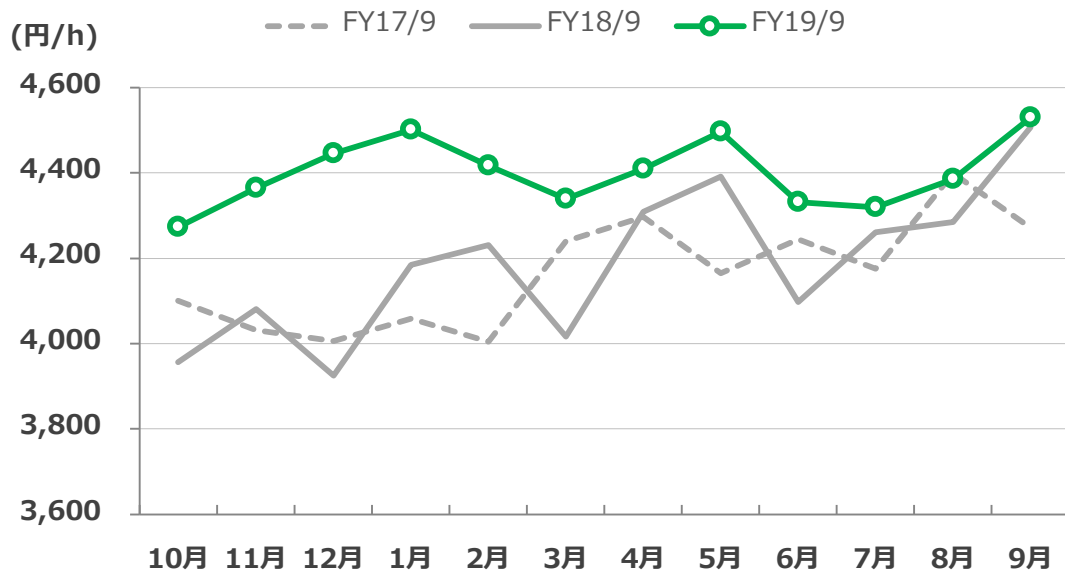
FY2017	3,211円	YoY
FY2018	3,254円	+1.3%
FY2019	3,298円	+1.3%

※夢テクノロジーのみ

派遣単価 (2)

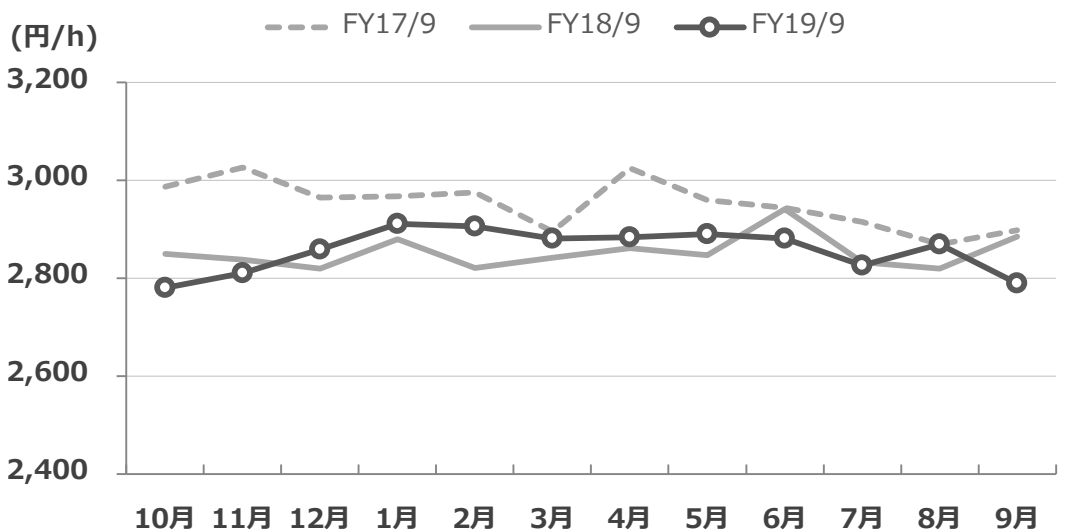


エンジニア派遣



ハイエンド
12ヶ月平均 (10~9月)

FY	単価 (円)	YoY
FY2017	4,166円	YoY
FY2018	4,187円	+0.5%
FY2019	4,401円	+5.1%



平均派遣単価
12ヶ月平均 (10~9月)

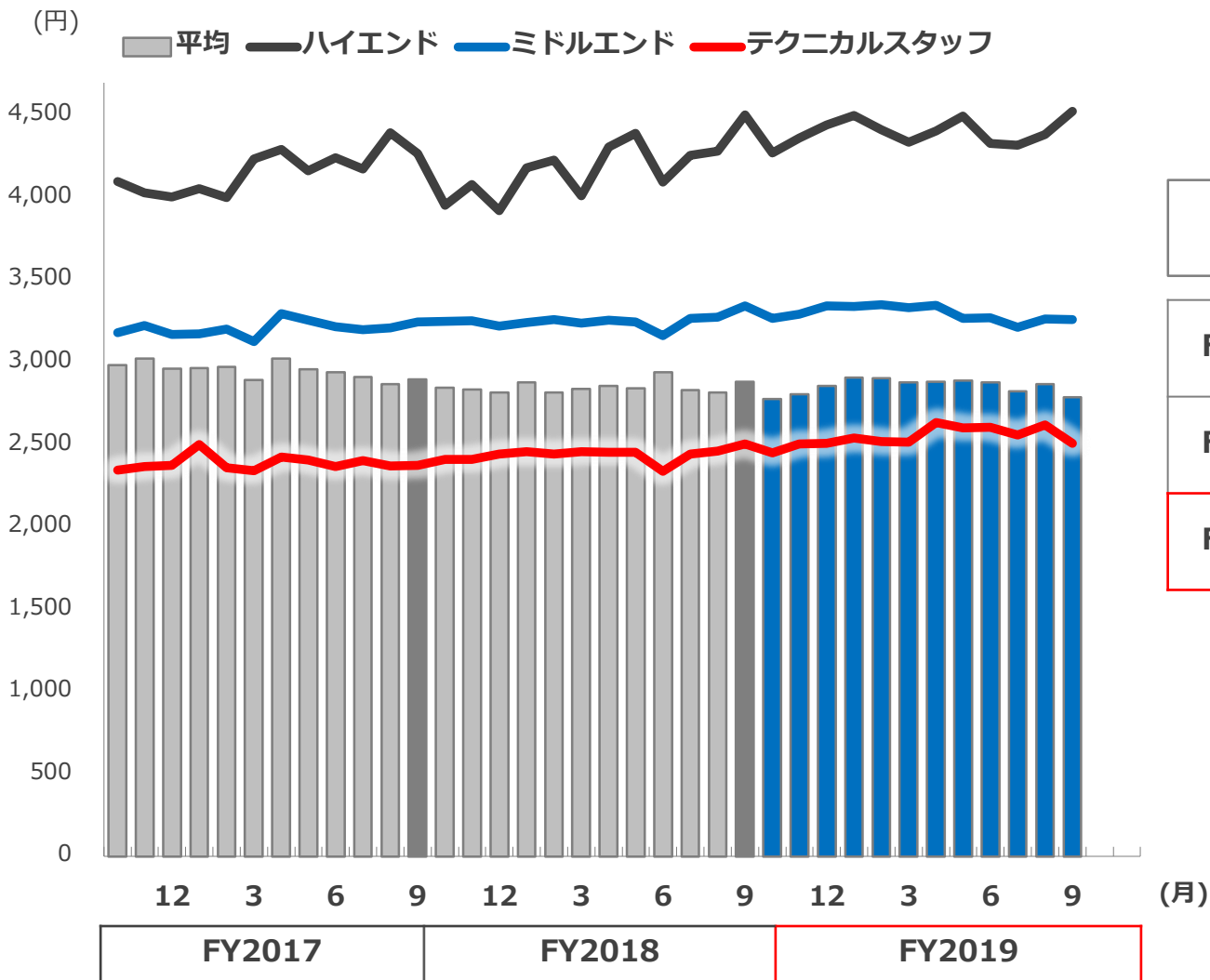
FY	単価 (円)	YoY
FY2017	2,952円	YoY
FY2018	2,853円	▲3.3%
FY2019	2,857円	+0.2%

※夢テクノロジーのみ

派遣単価の推移



■ テクニカルスタッフ増加も需要拡大で平均単価上昇



平均派遣単価 12ヶ月平均 (10~9月)		
FY2017	3,255円	YoY
FY2018	3,294円	+1.2%
FY2019	3,416円	+3.7%

※夢テクノロジーのみ

KPI サマリー



エンジニア派遣

- 積極採用により在籍エンジニア数が50%増と好調に推移
- エンジニア数の増加に伴い稼働率低下するも平均派遣単価は上昇

全技術者 12ヶ月平均 (10~9月)

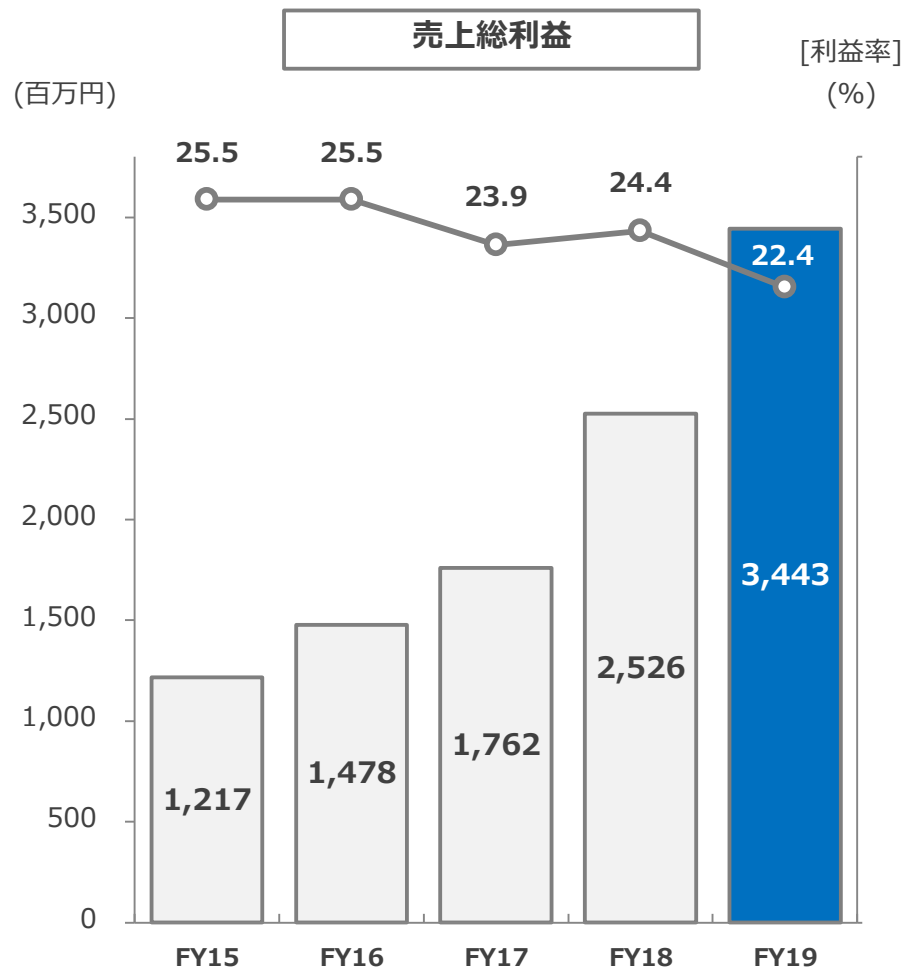
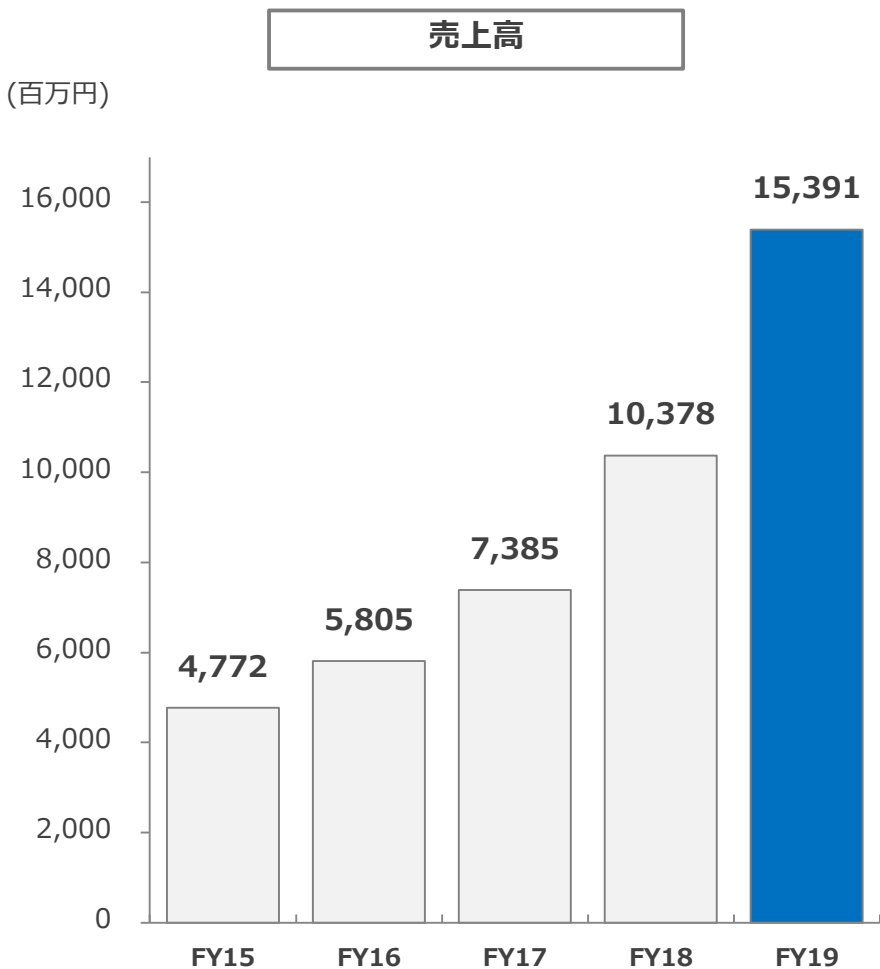
	FY2018	FY2019	増減	増減率
技術者数	2,046人	3,078人	+1,032人	+50.4%
稼働率	91.5%	89.5%	▲2.0pt.	—
稼働時間	7.89h	7.76h	▲0.13h	▲1.6%
派遣単価	3,294yen	3,416yen	+122yen	+3.7%

※「稼働率」「稼働時間」「派遣単価」は夢テクノロジーのみ

P/L サマリー



- 売上高 ⇒ 積極採用により稼働人数増加 +48%
- 売上総利益 ⇒ 派遣単価上昇 + 稼働率低下 → 前年比 +36%



販売費及び一般管理費



エンジニア派遣

- 管理部門の増員及びグループ会社増加による増員 ⇒ 人件費59%増加
- 積極採用のための大規模な先行投資を行い、採用コスト57%増加

(百万円)

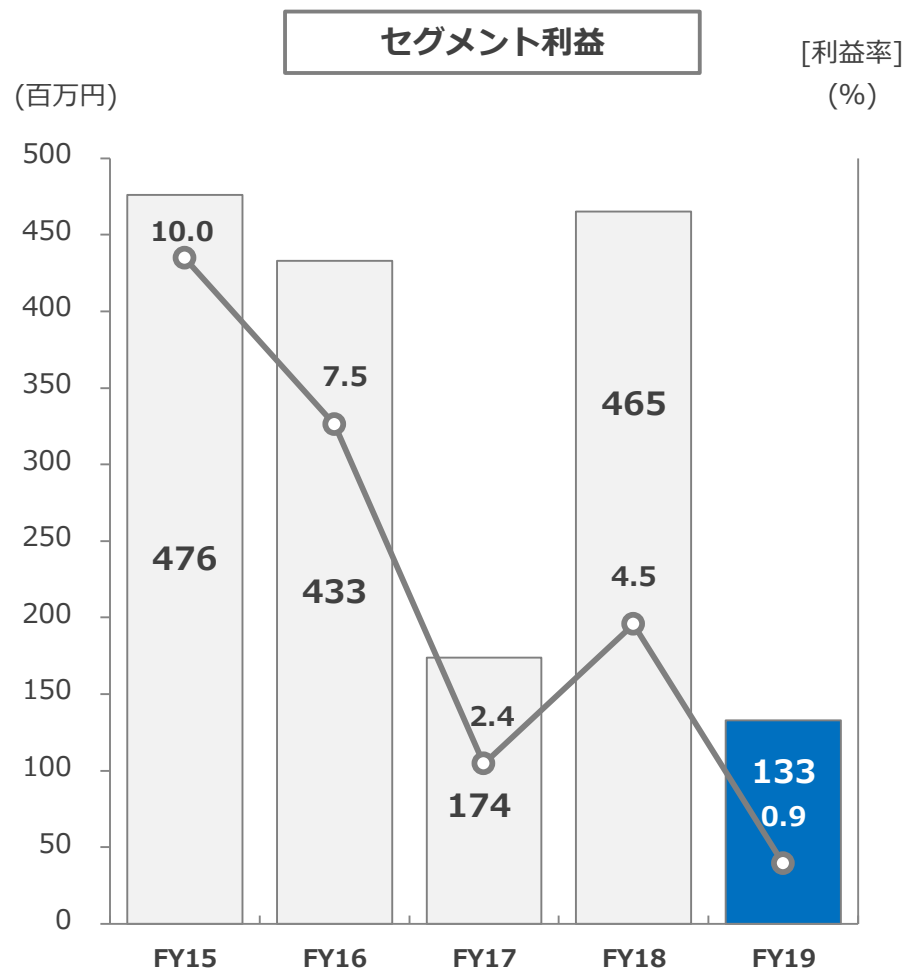
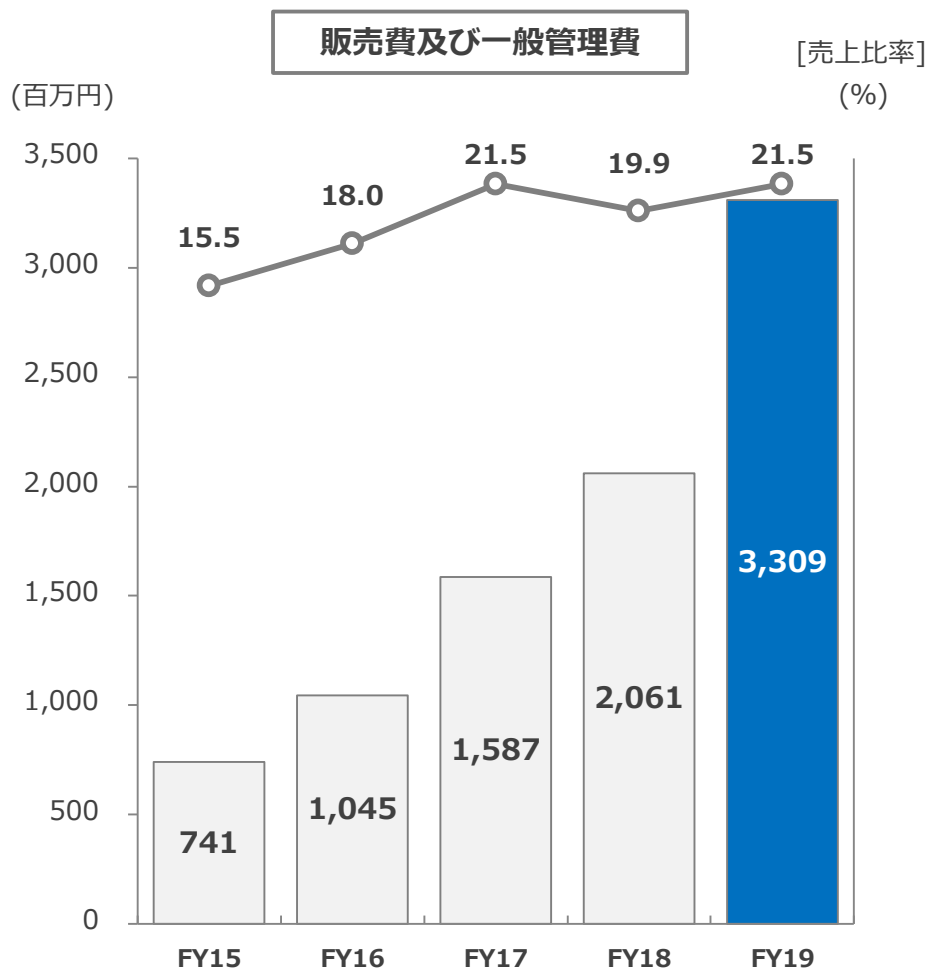
	FY2018	FY2019	増減額	摘要
販売費及び一般管理費	2,061	3,309	+1,210	
人件費	934	1,482	+548	管理部門の増員及びグループ会社増加による増員
広告宣伝費	6	23	+17	
採用費	662	1,037	+375	積極採用による増加
業務委託費	85	116	+31	
販管费率	19.9%	21.5%	+1.6pt.	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)

販管費・セグメント利益

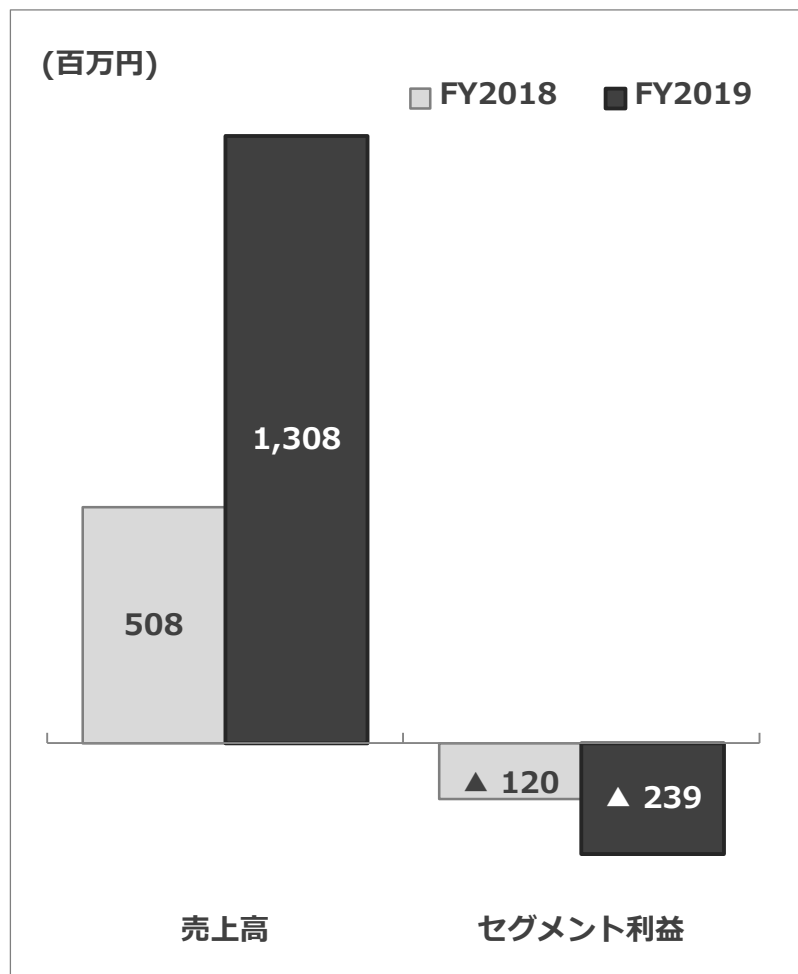


- 販売費及び一般管理費 ⇒ 期初計画どおり人件費及び採用費増加 +57%
- セグメント利益 ⇒ 期初計画0に対し、稼働人数増加及び派遣単価上昇により販管費増加をこなし利益計上 ▲71%



その他事業

- エンジニアの高付加価値化促進のための付属事業をスタート
- IT関連事業はネットワーク機器の販売レンタル事業連結で黒字化
- 教育事業では広告投下から売上反映までにタイムラグがあるため一時的に費用先行



1. 人材紹介事業 (百万円)

	FY2018	FY2019	増減
売上高	245	156	▲88
セグメント利益	43	▲138	▲181

・国内事業は吸収合併 → 海外人材活用特化で投資フェーズ

2. 教育関連事業 (百万円)

	FY2018	FY2019	増減
売上高	139	123	▲16
セグメント利益	▲133	▲236	▲103

・プログラミング学習サービス事業で販管費増による減益

3. IT関連事業 (百万円)

	FY2018	FY2019	増減
売上高	130	974	+843
セグメント利益	▲30	133	+163

・不採算子会社売却 → NW機器の販売レンタルで黒字へ

※その他、セグメント間取引による連結消去がございます。

2020年9月期

「営業利益80億」

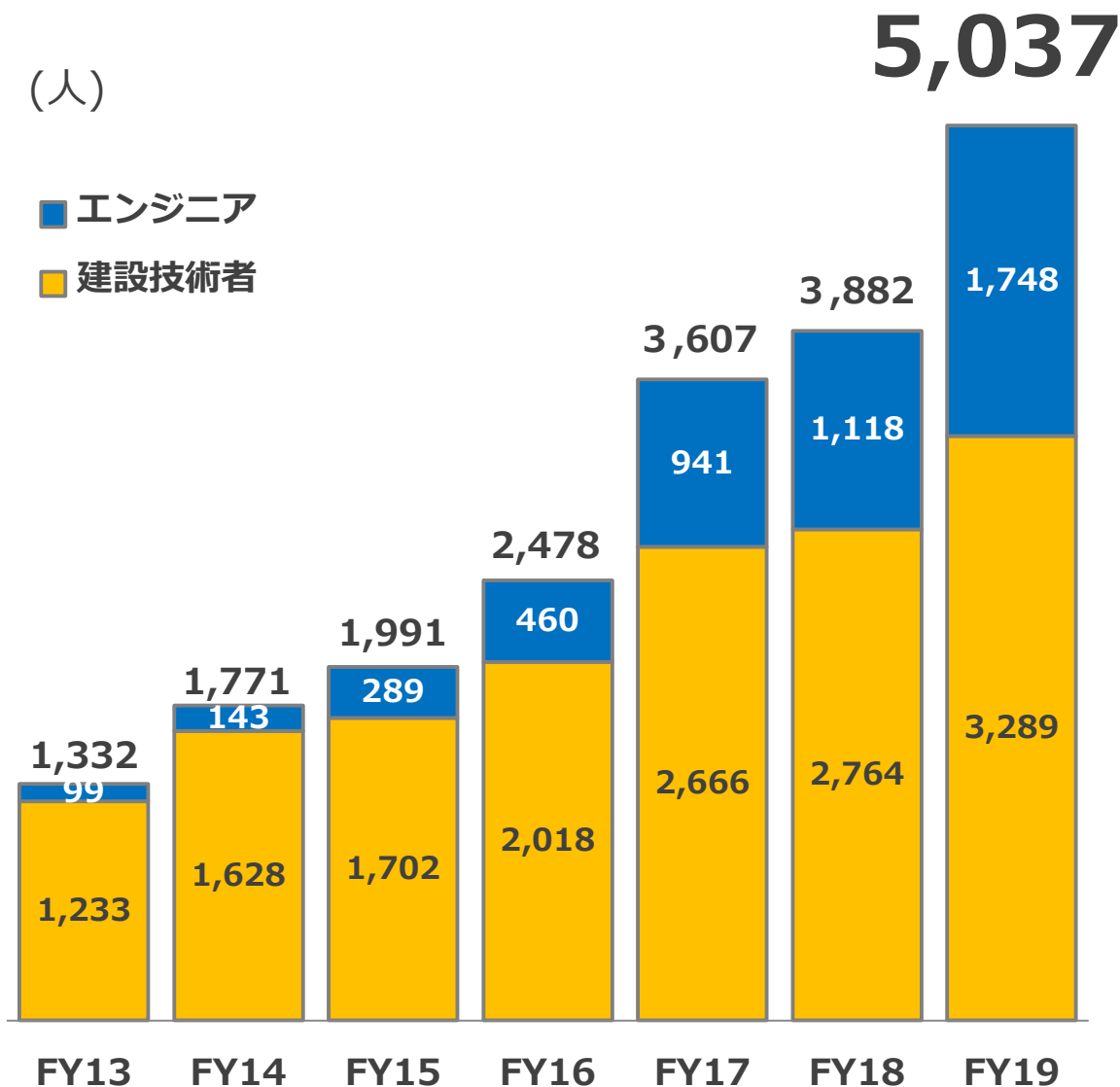
1. 前期の採用投資収益化
2. グループ企業との連携
3. IFRSの導入

1-1. 採用人数の推移



(人)

- エンジニア
- 建設技術者



創業以来
最高達成



採用 = 超高効率投資

採用1人当たりROI

	建設技術者派遣	エンジニア派遣
採用研修コスト (千円/人)	600	750
年間売上総利益額 (千円/人)	1,650	1540
月間売上総利益額 (千円/人)	150	140
投資回収期間 (ヶ月)	4	6
ROI	175%	105%

投資回収期間：採用研修コスト÷月間売上総利益額

ROI：(年間売上総利益額-採用研修コスト)÷採用研修コスト×100

2020年9月期 セグメント別業績予想

(百万円)

1. 建設技術者派遣事業	FY2019実績	FY2020予想	増減率
売上高	35,890	41,100	14.5%
セグメント利益	5,904	7,500	27.0%
採用人数	3,289人	2,900人	△11.8%
期末在籍人数	6,099人	6,800人	11.5%

2. エンジニア派遣事業	FY2019実績	FY2020予想	増減率
売上高	15,391	20,800	35.1%
セグメント利益	133	1,200	799.6%
採用人数	1,748人	1,350人	△22.8%
期末在籍人数	3,640人	4,000人	9.9%

※セグメント区分変更後に基づき算出しております。

2-1. 前期グループ化した企業



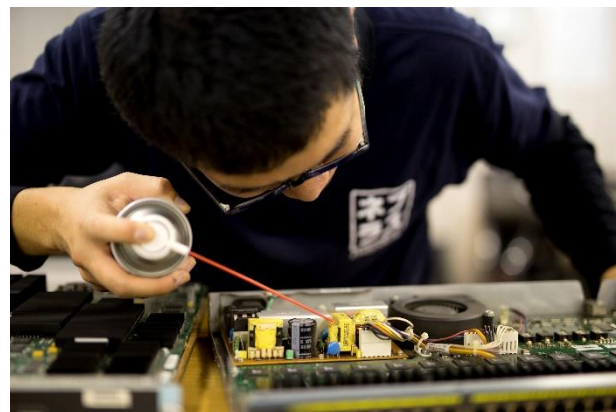
エンジニア派遣

neplus ネプラス株式会社

2018年10月1日子会社化

ITエンジニア派遣・IT機器の販売レンタル

- ・ CISCO製品を中心としたIT機器の販売レンタルとITエンジニア派遣事業を展開
- ・ 各製品に対する深い知識と高い技術力を持った優秀なエンジニアが80名以上在籍
- ・ 設計および開発分野の上流工程派遣がメイン



ip 株式会社インフォメーションポート

2019年4月2日子会社化

ITエンジニア派遣・ITシステムの受託開発

ハイクラスエンジニアが多数在籍

- ・ 100名以上のエンジニアを抱え、業界経験10年を超えたハイクラスエンジニアが3割
- ・ 毎年10名程度の新卒エンジニアを採用し育成する優れた研修ノウハウを保有



2-2. 前期グループ化した企業



エンジニア派遣

Samurai 株式会社 侍

2019年4月24日子会社化
社会人向けプログラミング学習サービスを提供

自社メディア「侍エンジニア塾」の強み

- ・ 月間170万ユーザー超・520万PV超!!の**集客力**
- ・ 未経験でも始められる**指導力**

現役生	500名
月間サイト利用者	1,600,000名
累計指導実績※	16,000名

※レッスン、セミナー、オフラインなどのサービスを含む

ガレネット株式会社

2019年7月1日子会社化
ネットワークの構築・設計、ITエンジニア派遣

- ・ 大規模イントラネットやエクストラネット、小規模なSOHOネットワークの構築まで多種多様な案件に対応
- ・ ネットワーク市場における最上流企業が主要顧客
- ・ 上流工程を担うハイクラスエンジニアが約40名所属、さらに初級エンジニアを継続的に採用・育成、顧客の初級エンジニアの受け入れも進んでいる





高単価のハイクラスエンジニアへ



プロフェッショナルエンジニア集団、エンジニア教育プログラム



neplus

Samurai



PROエンジニアなら「クルンテープ」

KRUNGTHEP



InformationPort

教育・研修を委託



新規顧客の
紹介を依頼



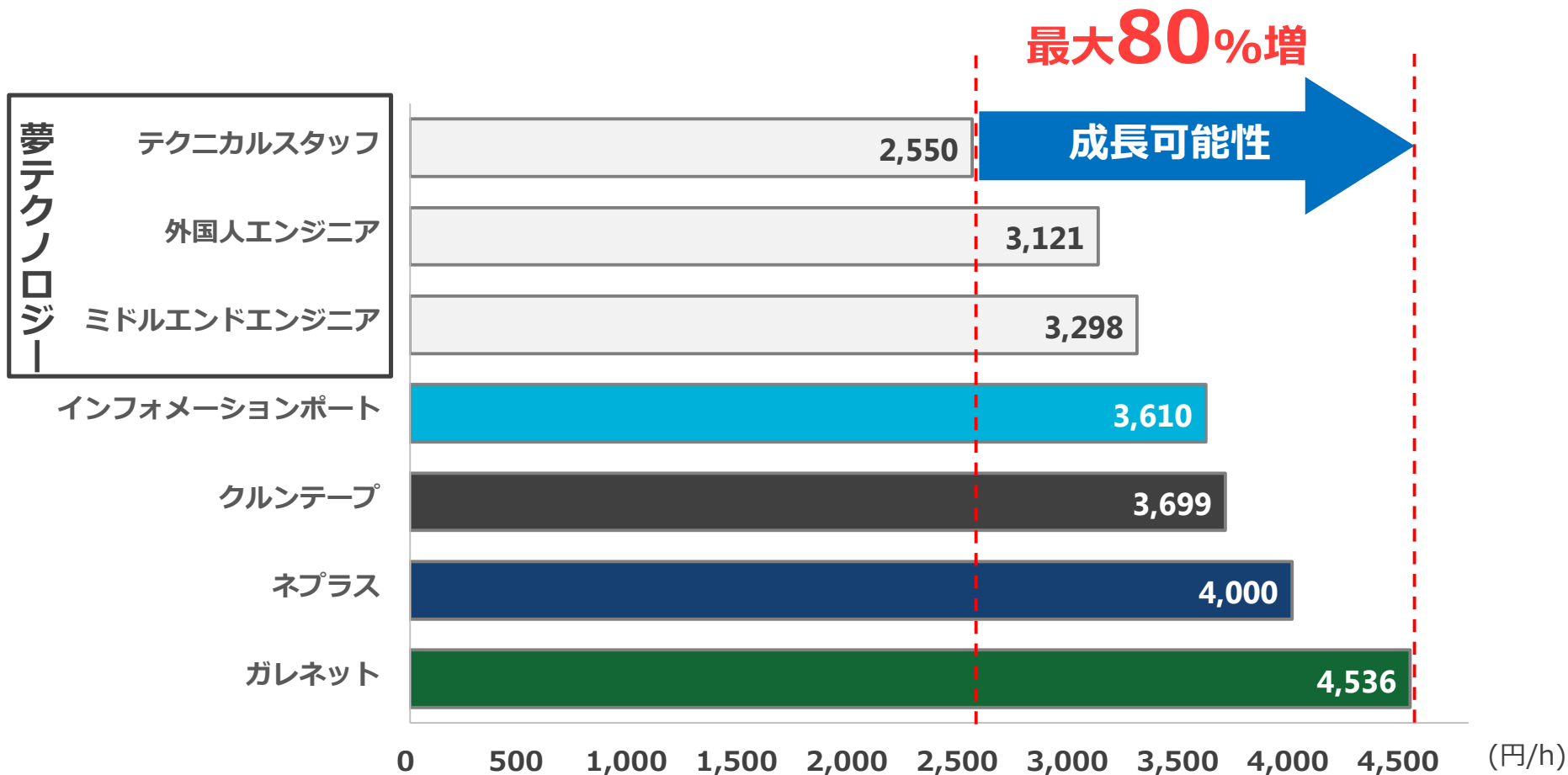
株式会社夢テクノロジー
YUME TECHNOLOGY CO.,LTD.

新人・未経験メイン、800社の顧客基盤

2-5. グループ連携による成長性



グループ連携での若手育成で派遣単価が飛躍的上昇



2-6. 拠点の集約

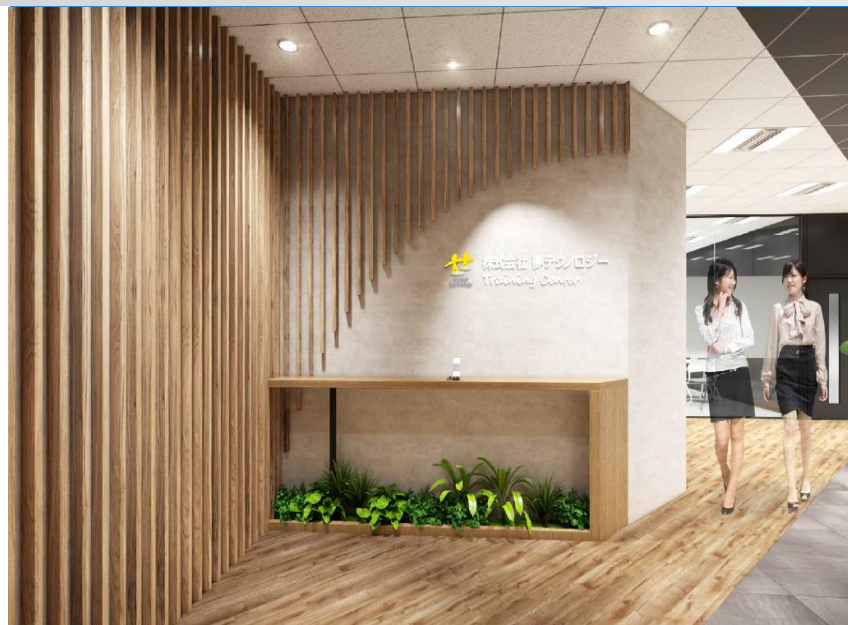


エンジニア派遣

エンジニア派遣4社集約 大規模研修施設も完備

- ・コミュニケーション、移動コストの最適化
- ・グループ連携促進、戦略的意思決定を迅速に

事業会社	    PROエンジニアなら「クルンテープ」
所在地	東京都千代田区神田練堀町300番地 住友不動産秋葉原駅前ビル ※「秋葉原駅」より徒歩1分
移転日	2019年11月1日





2020年9月期通期決算発表より 国際会計基準（IFRS）を任意適用

1. 海外投資家の理解促進

海外投資家と共通言語でIRが可能となり理解促進が期待される → **外国人持株比率および流動性の向上**

2. M&A時ののれんの非償却化

「のれんの非償却化」で約500百万円の利益押し上げ効果

2020年9月期 連結業績予想

「営業利益80億」

(百万円)

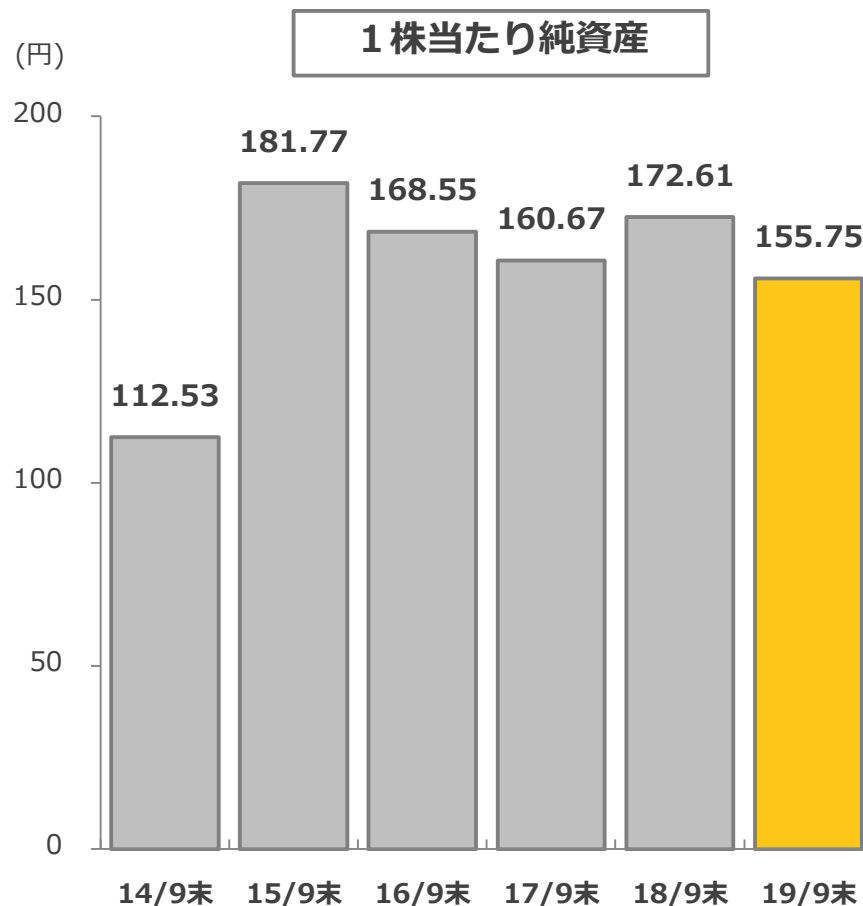
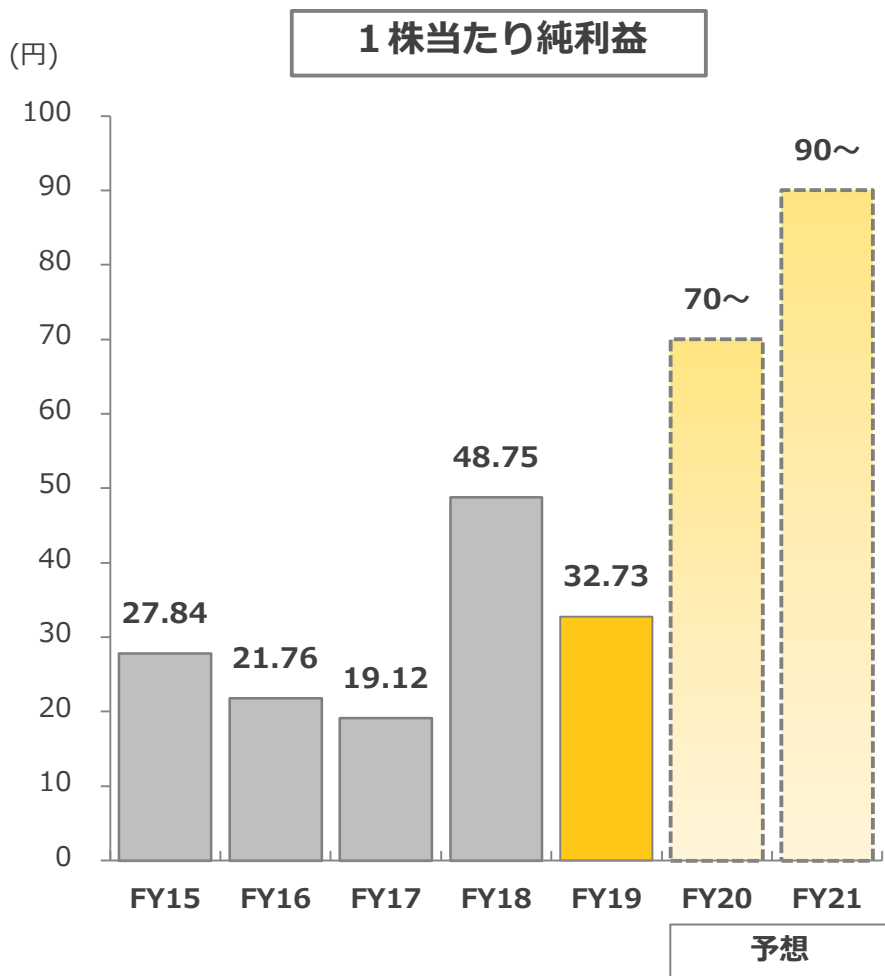
	FY2019実績 (日本基準)		FY2020予想 (IFRS)
売上高	52,505	売上高	63,000
営業利益	4,719	営業利益	8,000
経常利益	4,557	親会社の所有者に帰属する 当期利益	5,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,504	基本的1株当たり 当期純利益	70.59円
1株当たり純利益	32.73円		

※当社は2020年9月期通期決算発表から、国際会計基準(IFRS)を任意適用することといたしました。
 ※セグメント区分変更後に基づき算出しております。

ご参考

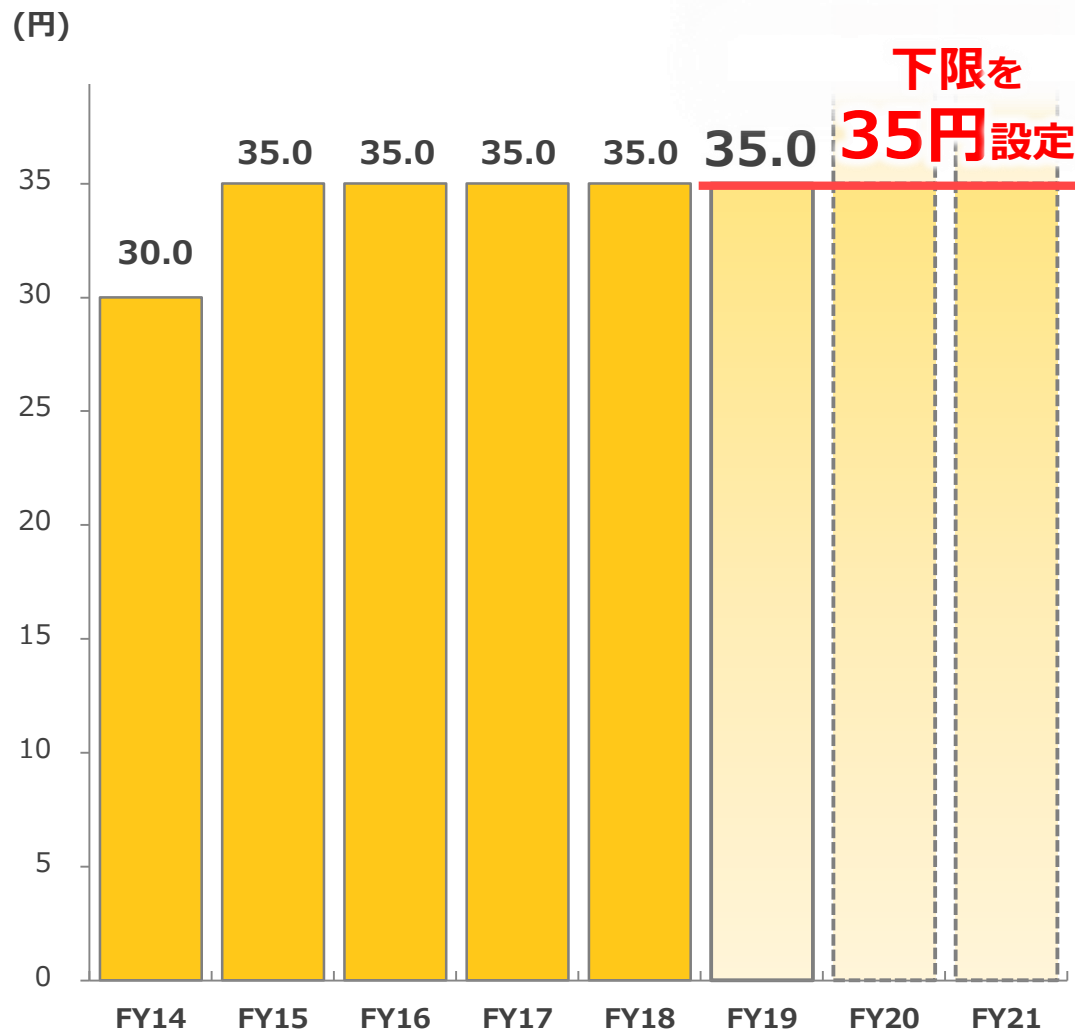
株主還元（1） 1株当たり純利益・純資産

■ 1株当たり純利益 ⇒ FY20以降エンジニア派遣が伸張で大幅増益予定



- ※ 1. 1株当たり純利益 = 当期純利益 ÷ 期中平均株式数 × 100
2. 1株当たり純資産 = 自己資本 ÷ (発行済株式総数 - 期末自己株式数) × 100

株主還元（2） 1株当たり配当金



中期経営計画

安定配当で 積極投資

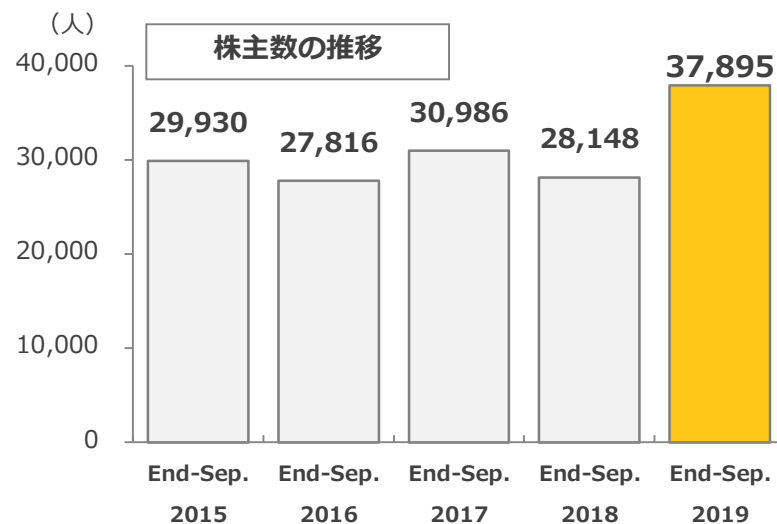
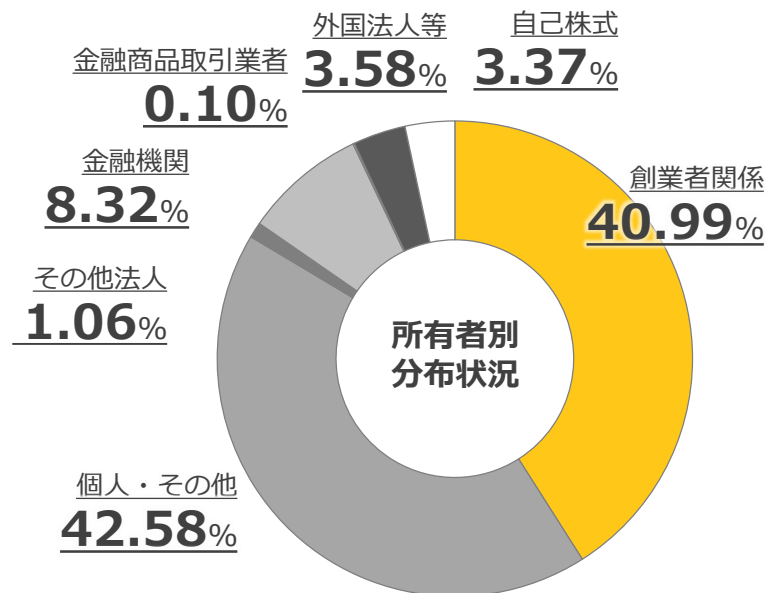
EPSの増益分を機動的に活用

1. M&Aなどの再投資
2. 自己株式取得
3. 増配

株式の状況

2019年9月30日現在

	株主名	所有株式数 (千株)	所有割合 (%)
1	佐藤 真吾	18,425	23.37
2	佐藤総合企画	12,721	16.13
3	Japan Trustee Services Bank	3,791	4.81
4	The Master Trust Bank of Japan	1,277	1.62
5	深井 英樹	1,010	1.28
6	J.P MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380577	752	0.95
7	佐藤 淑子	688	0.87
8	佐藤 大央	486	0.62
9	Japan Trustee Services Bank (9)	436	0.55
10	野村 将博	398	0.51
大株主上位10名合計		39,988	50.71



※ 発行済株式総数=78,842,440株
自己株式数=2,653,531株 (上記大株主から除外)

人と人とのめぐりあいで みんなの夢を真にする





YumeShin
Holdings

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予想値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものではありませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

[お問い合わせ]

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 22F

株式会社 夢真ホールディングス IR室

TEL: 03-3210-1212 FAX: 03-3210-1209

E-mail: ir@yumeshin.co.jp